

行番号	読んだ素材		協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
	ページ	文章	発話	日本語訳		
1					えー、はい、まず、それでは、題からはじめてもらいましょうか。どうぞ。	
2	p.71	視聴覚翻訳におけるユーモアの訳し方	Si. Sería, a ver, 視聴覚翻訳におけるユーモアの訳し方[日本語で発話する].	はい。そうすると、えーと、「視聴覚翻訳におけるユーモアの訳し方」。		
3		結束性の観点から	「けつとうせい」[「結束性」の読み間違い]の観点から[日本語で発話する]。Vale, es como un título y luego un título más pequeño. Vale. Pues es, bueno.	「けつとうせい」[「結束性」の読み間違い]の観点から。]はい、これは題で、そして小さな題が続いています。はい、それはですね、まー。		
4					なんについて論文ですか。	
5			Eh, a ver, trata de, la manera de traducir el humor en la traducción audiovisual. Vale, sí. Y luego es, en concreto, sería desde el, el punto de vista 観点から[日本語で発話する]。A ver, esto [行番号3の「性」を指す] es 性, これ[日本語で発話する], esto [行番号3の「性」を指す] va a parte, entonces la palabra sería esto [行番号3の「結束」を指す], けつ, けつ [日本語で発話する], quizás, si es el título he de mirarlo por si acaso [オンライン辞書 Jisho.org で「結束」を調べる]。結束 [日本語で発話する], union. [聞き取り不能] [4秒間沈黙]	え、えーと、なにについてかという、視聴覚の翻訳におけるユーモアを翻訳する方法についてです。はい、そうですね。それで、具体的には、それは、その視点、「観点から」ということになります。えーと、これ[行番号3の「性」を指す]は「性」で、これ[行番号3の「性」を指す]は分かれている別の部分で、言葉としてはこれ[行番号3の「結束」を指す]は「けつ、けつ」、たぶん、題であるならば、ちゃんと調べておかないといけないですね。[オンライン辞書 Jisho.org で「結束」を調べる。]「結束」「結合」という意味です。[聞き取り不能。] [4秒間沈黙。]		
6					これは視聴覚翻訳の専門用語ですか。	
7			En teoría sí, ¿no? Porque está.	理論的にはそうですね、ですよ? なぜならこれは。		
8					可能性はありますね。	
9			Si.	はい。		
10					わたしにもこの文の意味はどういうことかはっきりとわかりません。	
11			Claro, porque la traducción. Claro aquí [辞書の説明を指す] sí que entien, Unir, claro. Pero unir, en la traducción audiovisual.	そうですね、なぜなら翻訳は、確かにここ[辞書の説明を指す]には、結合とありますから。でも結合は、視聴覚翻訳においては。		
12					特性かなんかですか。	
13			Si.	はい。		
14					でもなんですか。	
15			Ya, bueno. En teoría en este caso como el título sí que lo entiendo, y es el título pequeño o el que no, quizás leo un poco la introducción y entenderé qué es este 結束 [日本語で発話する].	そうですね、まー。理論的にはこの場合は題としての理解はできませんが、副題のほうはわかりません、おそらくもう少し序文を読んでいけば、この「結束」がなにを意味するか、わかると思います。		
16					はい、わかりました。	
17			¿SÍ? A ver, entonces Bueno, como es un artículo también voy a leer primero はじめに [日本語で発話する], para entender más o menos de qué habla. Porque quizás, el título como dice humor sí que me interesa pero luego lo leo aquí y digo, ah pues no, quizás no me interesa tanto.	いいですか、では、えーと、まー、これは論文なので「はじめに」というところを読んでみます。大体なについて書かれているかを理解するためにです。もししたら、題にはユーモアとあるので興味がありますが、読んだ後で、あ、そんならそんなに興味がないなということになるかも知れません。		
18					あ、わかりました。	
19		若尾拓哉(立教大学院異文化コミュニケーション研究科博士前期課程) 1. はじめに	Y entonces, leo primero el はじめに [日本語で発話する]。Bueno, luego está el, el autor, que el autor, no. Y la, esto es la universidad de donde sale. Vale, y de quién es el artículo. Vale, pues はじめに [日本語で発話する].	それでは、まず「はじめに」を読みます。あー、これは、その著者、著者ですが、わかりません。そして、これは、大学で、出版された場所です。はい、この論文が誰のものかです。はい、では「はじめに」。		
20		グローバル化に伴い世界の情報が日本に入ることが増えてきており、情報のやり取りの重要性が高まっている。	グローバル化に伴い世界の [日本語で発話する]。A ver, donde está. Vale, じめにグローバル化に伴い世界の情報が日本に入ることが増えてきており、情報のやり取りの重要性が高まっている [「高まっている」の読み間違い] [日本語で発話する]。Vale, a ver, aquí hay dos frases. Aquí [「」を指す] empieza una, y la otra. Las dos son, bueno, 伴い世界の情報が [日本語で発話する]。Vale, entonces, la información, el mundo de la información. [8秒間沈黙] A ver, 日本に入る [日本語で発話する]。Vale, entonces, dice que está creciendo la tin-tin-tin. O sea, hay dos [日本語で発話する]。Entonces, が [日本語で発話する] y が, 増え [日本語で発話する]。Vale, el sujeto, como hay dos [日本語で発話する], digo, uy, esto ya empieza a liarme porque aquí hay dos [日本語で発話する]。Porque el sujeto sería esto [最初の「が」を指す] y luego esto [二番目の「が」を指す] también es otra parte y otro sujeto.	「グローバル化に伴い世界の」。えーと、どこですか。はい、「はじめに」グローバル化に伴い世界の情報が日本に入ることが増えてきており、情報のやり取りの重要性が高まっている [「高まっている」の読み間違い]。]はい、えーと、ここには2つの文があります。ここで[「」を指す]一つが始まって、もう一つは、二つとも、まー、「伴い世界の情報が、」はい、つまり、その情報、情報の世界、[8秒間沈黙。]えーと、「日本に入る。]はい、ということ、は、増えていると言っています。ティン、ティ、ティン、つまり、二つ「が」があります。もう一つは、「が」と「が」。「増えており」。はい、まじでですが、二つ「が」があるので、それは、えーと、ここにある二つの「が」でこんがらがってきました。なぜなら主語はこれ [最初の「が」を指す] で、そのあとのこれ [二番目の「が」を指す] は別の部分でもう一つの主語です。		
21			Entonces, el primero que aparece es este, y es, el mundo de la información, que está sujeto o que está condicionado por la globalización. Entonces, el mundo de la información, el mundo de la información no es dice, es como el mundo de la comunicación, creo que es. Que está sujeto a la globalización, o que es causa o producto de la globalización, y, 日本に入ることが増えている [日本語で発話する]。Vale, esta información, está el número de información de este tipo de información que entra en Japón está creciendo, está aumentando y además, es, eh, 情報のやり取りの重要性が [日本語で発話する] y la importancia que tiene esta información, está aumentando. Que está entrando cada vez más información, y encima esa información es importante.	つまり、最初に出ているのは、それは、情報の世界で、グローバル化によって条件付けられているということ。それで、情報の世界、情報の世界とは言わず、それはコミュニケーションの世界のように入ります。グローバル化を受けているが、あるはグローバル化の成果が原因で、そして、「日本に入ることが増えている」。はいこの情報は、日本に入るこのタイプの情報の数は増えている、増加しており、その上、えー、「情報のやり取りの重要性」が、この情報の持つ重要性が高まっている、さらに情報の入る量が増えている、その上この情報は重要です。		
22					うーん。	
23			Vale.	はい。		
24					えー、これ「グローバル化」を指す]、はどのような意味ですか。	
25			Esto, la globalización, ¿no? グローバル化 [日本語で発話する].	これはグローバル化です、違いますか。「グローバル化」。		

26				あー。	
27		Globalización.	グローバルゼーション。		
28				これが原因ですか。	
29		「小さい声でもう一度文を読む」Si, ¿no? Esto [行番号20の「併い」を指す] sería, lo busco por si acaso, pero esto en teoría es que está condicionado. Uy, A ver, por favor: [操作エラーで再度ページを縦にしてしまう] Es que está condicionado por el, por esta globalización. No sé si es condicionado concretamente pero creo que sí, ¿no? [オンライン辞書Jisho.orgで「併い」を調べる] A ver, sí, no, que acompaña. Entonces la causa es, sí, en este caso supongo que pone acompaña pero es que va junto, y esto es una causa de la globalización. Vale, sí.	「小さい声でもう一度文を読む」はい、そうですよ。あれ「併い」を指すは、その念のために調べますが、理屈ではこれは条件を付けています。あ、えーと、すみません。[操作エラーで再度ページを縦にしてしまう] このグローバル化によって、条件付けられているんです。具体的にはわかりませんが、そうだと思えます。そうすよね? [オンライン辞書Jisho.orgで「併い」を調べる。] えーと、はい、いや、併うです。そうすると原因は、はい、この場合は併うとありますが、縦に行くと意味で、これはグローバル化の原因です。はい、そうです。		
30	情報にはニュース、映画、ドラマなど様々なものが含まれ、これら世界から日本に取り入れるために通訳翻訳を欠かすことはできないだろう。	情報に「日本語で発話する」。Vale, entonces es esta información [日本語で発話する] [行番号30の「情報」を指す]。¿qué es? Esta información [日本語で発話する] es «...». 映画、ドラマなど様々なものが含まれ「日本語で発話する」。Vale. La información [日本語で発話する] es todo esto [行番号30の全部を指す]。	「情報」には、はい、そうすると、この「情報」に「行番号30の「情報」を指す」。これはなんですか。その「情報」は「ニュース、映画、ドラマなど様々なものが含まれ」です。はい、この「情報」というのはこれ「今読んだ部分全部」を指すです。		
31				うーん。	
32		La información. これから世界から世界日本に取り入れるために通訳翻訳を欠かすことはできないだろう [日本語で発話する]。Vale. Entonces dice, vale. Esta información [行番号30の「情報」には「併い」を指す] incluye todo esto [行番号30の「含まれ」の文全体を指す]。Para que. No es información así [行番号30の「情報」を指す]。es este tipo de información [行番号30の「ニュース、映画、ドラマ」を指す]。Entonces, esta información. Para que. Para que esta información entre Japón del resto del mundo, que también es globalización [行番号20の「グローバル化」]を指す]。la interpretación y la traducción, ¿cómo es? ¿cómo es? [日本語で発話する]。no puede faltar. だろう [日本語で発話する]。Bueno, aquí el だろう [日本語で発話する] es en plan no debería faltar. ¿No? Que lo pregunta un poco, no lo dice «¿cómo es? [日本語で発話する] punto, sino, ¿cómo es? [日本語で発話する]». Que en teoría es importante.	その情報「これから世界から世界日本に取り入れるために通訳翻訳を欠かすことはできないだろう」。はい、そうすると、言っていることは、はい、この情報「行番号30の「情報」には「併い」を指す」。これは「行番号30の「含まれ」の文全体」を指す「含まれ」です。はい、この「情報」を指す「情報」ではなく、それはこれらのタイプの情報「行番号30の「ニュース、映画、ドラマ」を指す」です。それで、この情報は、なんのため。世界から日本にこの情報が入るため。また同様にグローバル化「行番号20の「グローバル化」]を指す]。通訳と翻訳を、「かかす」ことができない。欠かすことはできません。「だろう」ま、この「だろう」は「意図、欠けてはいけないだろう」の意図、ですね? 問いかけというか、ちょっと、「できない」とは「つきり」言わないで、「できないだろう」と言う。でも理論的には重要です。		
33				うーん。ですよりも曖昧な表現ですね。	
34		だろう [日本語で発話する] es ambiguo. Si, ¿no? Claro en este caso como lo está escribiendo él, si él dijese, esto es importante, punto. Quizá como está investigando, como es una investigación, pues es un, que lo supone.	「だろう」は曖昧です。はい、そうすよね? 確かにこの場合着目しているわけですから、もしもした彼自身がこれは重要であると言いつけた可能性もあります。おそく、研究しているの、論文ですから、推測として。		
35				つまり、著者の意見ということですね。	
36		Si.	はい。		
37	その際に重要な役割を果たすのが、視聴覚翻訳 (audiovisual translation=AVT) である。AVT は映像と音声のある情報を翻訳することを指し、世界中で広く利用されているものである。	Entonces, その際に重要な役割、役割? 役割 [日本語で発話する]。Esto, No, esto [行番号37の「役割」を指す] no es 役割 [日本語で発話する]。En el papel, pero se lee raro. A ver, [オンライン辞書Jisho.orgで「役割」を調べる] Ah, sí que es 役割 [日本語で発話する]。Entonces si que es 役割を果たすのが 視聴覚翻訳 [日本語で発話する]。Vale, la traducción audiovisual, ¿cómo es? [日本語で発話する]。Vale, entonces dice que en este caso, 果たす [日本語で発話する]。果たす [日本語で発話する] no sé lo que significa. 果たす [オンライン辞書Jisho.orgで「果たす」を調べる]。To accomplish [英語で発話する]。Vale, que en este caso el, la que realiza el papel importante no es cualquier traducción, sino, la traducción audiovisual. Claro, como es noticias, películas y series, no es cualquier traducción, sino la audiovisual. Vale. Esto sí que es afirmativo. Esto lo afirma. Esto es así.	それでは、「その際に重要な役割、役割? 役割」これは、いや、これ「行番号37の「役割」を指す」は「役割」ではない。その役目、で、必要な読み方です。えーと、[オンライン辞書Jisho.orgで「役割」を調べる。] あー、確かに、「役割」です。そうすると、確かに「役割」を果たすのが「視聴覚翻訳」となります。はい、視聴覚翻訳、「である」。はい、そうするとここで言っているのは「果たす」。果たすはどんな意味かわかりません。[オンライン辞書Jisho.orgで「果たす」を調べる。] To accomplish [英語で発話する] が出ています。はい、ここはそれは、重要な役割を果たすのは普通の翻訳ではなく、視聴覚翻訳です。確かに、それはニュース、映画、シリーズなどですから、普通の翻訳ではなく視聴覚翻訳です。はい、これは確かに「である」で結んでいっている「果たす」の肯定文です。そういうことです。		
38				うーん。	
39		La traducción habitual, audiovisual 映像と音声のある情報を翻訳することを指し、世界中で広く利用されているものである [日本語で発話する]。Vale, entonces, como es la introducción, te dice, pues si no sabes qué es la traducción audiovisual, pues es la traducción que apunta, o, si, apunta, en plan tiene como objetivo traducir la información que viene a través del, de la imagen y del sonido. Eeeh imagen y sonido y ¿Qué más dice aquí? Y que se utiliza para, a ver, 世界中で [日本語で発話する] ah no, vale. Y se utiliza en todo el mundo. 広く [日本語で発話する] aquí es como, mucho. Que se utiliza muchísimo en el mundo.	通常の翻訳、視聴覚「映像と音声のある情報を翻訳することを指し、世界中で広く利用されているものである」。はい、そうすると、翻訳というのは、言っていることは、つまり、ここで言う視聴覚翻訳がなんなのか知らない。つまりこの翻訳は、はい、おしいです。音や映像による情報を翻訳するのが目的である翻訳を指しています。えー、映像と音と、ほかになんとここでは言っていますか。そして、それらは使われている、えーと、「世界中であー、使います。はい、そして世界中で使われています。」「広く」この意味は多くだと思います。世界中で非常に多く使われています。		
40	グローバル化が進む現代において情報のやり取りに関わる AVT の需要は今後ますます高くなるだろう。	Vale, グローバル化が進む現代において情報のやり取りに、わるAVTの [日本語で発話する]。Uy, ¿Qué es esto [行番号40の「需要」を指す]? は今後ますます [日本語で発話する]。Vale. Entonces aquí hace una pregunta en plan como de, [オンライン辞書Jisho.orgで「需要」を調べる] Vale, demand [英語で発話する] Demand [英語で発話する]。Vale, entonces, la globalización [日本語で発話する] [日本語で発話する]。¿cómo es? [日本語で発話する]。supongo que es más, cada vez más. Lo voy a buscar. Pero como la otra vez también, los adverbios que son de repetición, en plan más [日本語で発話する]。[オンライン辞書Jisho.orgで「ますます」を調べる]。Vale, increasingly. Vale. Pues entonces sería que la A ver, el sujeto está aquí [行番号40の「需要」を指す]。entonces todo esto. La demanda de traducción audiovisual relacionada con el intercambio de información debido a que es una, bueno, que vivimos en una generación, 現代 [日本語で発話する]。sí, es una generación, pero vaya, una época en la que la globalización va a continuar, no es algo que pare.	はい、「グローバル化が進む現代において情報のやり取りに、わるAVTの」。あ、これ「行番号40の「需要」を指す」はなんですか。「は今後ますます」。はい、ここでは質問をするように、[オンライン辞書Jisho.orgで「需要」を調べる]。はい、demand [英語で発話する]。Demand [英語で発話する] という意味です。わかりました。Demand [英語で発話する]。はい、そうすると、グローバル化「において情報のやり取りに」。『ますます』おそく、意味はもっと、どんどん増えるというように感じます。調べてみます。でもほかに同様に、繰り返しの副詞、「ますます」のようにです。[オンライン辞書Jisho.orgで「ますます」を調べる。]はい、increasinglyと出ました。はい、そうすると、文は、えーと、主語はこれ「需要」を指すので、これ金高です。情報のやり取りに関係した視聴覚の翻訳の需要は、私たちが生活している世代が原因となっています。「現代」、そう、それは世代の中で、でも、グローバル化が狭く時代で、止まるものではありません。		

56	そのためAVTでは ST(起点テキスト)と TT(目標テキスト)の間に差があることが予想される。	Vale, a ver. そのためAVTでは[日本語で発話する]. ¿uh? テキスト[日本語で発話する]. ¿Esto que es? ST? ちよてん[起点の言い間違い]テクスト. ちよ. ちよてん[起点の言い間違い][日本語で発話する]? ¡Ah, vale! Vale, ahora lo he entendido, pero lo miro. Vale. Es que junta cosas en inglés y entonces yo me pierdo. ちよてん[起点の言い間違い][日本語で発話する] es source text[英語で発話する]. [オンライン辞書 Jisho.org で「起点」を調べる.] Vale, vale. Entonces esto sí, porque en traducción audiovisual esto [行番号50の「ST」を指す] es, source text[英語で発話する]. ¡ es el texto original. Claro, por eso ちよてん[起点の言い間違い][日本語で発話する] no sabia lo que era pero si es texto, pues será partida. Pasa que ちよてん[起点の言い間違い][日本語で発話する] no parece que sea origen. Parece como, muy punto, pero bueno. Vale. 「と」Jeeh, target text[英語で発話する]目標テキストの間に差があることが予想される [日本語で発話する]. Vale, entonces dice que, そのため[日本語で発話する]. Aquí el ため[日本語で発話する]. Aquí hay muchos ため[日本語で発話する] y no sé qué ため[日本語で発話する]. Quiere decir.	はい。えーと、「そのためAVTは、ん? [テクスト]。これはなんですか。ST? 「ちよてん」[起点の言い間違い]テクスト。ちよてん [ん] [起点の言い間違い]「あ。わかった。そうか、今わかりました。でも見てみます。はい。というのは英語で一纏になっているので、わからなくなってしまいました。「ちよてん」[起点の言い間違い]はsource [英語で発話する]という意味です。「オンライン辞書 Jisho.org」で「起点」を調べる。]はい。はい。そうです。そうすると、これは正しいです。なぜなら視聴覚翻訳において、これ「ST」を指す]はsource text [英語で発話する]のことです。つまり、オリジナルテクストのことです。そうか、それで「ちよてん」[起点の言い間違い]、それがなんのことか知りませんが、テクストというなら、つまり出発点ということですが、でも「ちよてん」[起点の言い間違い]というのは、音のようには見えませんが、点というので、丸い点のように入ります。でもまー、はい、「と」えー、target text [英語で発話する]「目標テキストの間に差があることが予想される」。はい。そうです。この「そのため」が、ここには「ため」がたたくさん出てきます。そしてなんの「ため」なのか、どういう意味なのか、わかりません。		
57				[美しい。]そうですね。	
58		Claro, lo que está.	はい、あるのは。		
59				三つめがあります。	
60		Claro, ninguno es ために[日本語で発話する]. es ため[日本語で発話する]. solo ため, ことなるがある[日本語で発話する]. Claro, ある[日本語で発話する]. Claro, aquí no dice nada de hacer algo. Dice en plan de aquí habría que hacer algo. そのため[日本語で発話する]. entonces si que sería para hacer esto, pero aquí no. Aquí dice ことなるである. そのため[日本語で発話する].	たしかに、どれも「ために」ではありません。「ため」です。「ため」、「ことなるがある」だけです。たしかに、「ある」。ここにはなにかするとはなにも言っていない。「そのため」。そうすると、これはなにかをするためということではない、言っているのは、音のようには見えませんが、点というので、丸い点のように入ります。でもまー、はい、「と」えー、target text [英語で発話する]「目標テキストの間に差があることが予想される」。はい。そうです。この「そのため」が、ここには「ため」がたたくさん出てきます。そしてなんの「ため」なのか、どういう意味なのか、わかりません。		
61					そのためはなにを意味しているのですか。なにか前のことを受けているのではないのでしょうか。
62		Claro, como dice 其の[日本語で発話する]. el último 其の[日本語で発話する], es este [行番号5]を指す。	たしかに、「その」といっているんで、最後の「その」に当たるのは[行番号5]を指す。		
63				うーん。	
64		Claro, hay otro 其の[日本語で発話する]. aquí hay muchos 其の[日本語で発話する] y muchos ため[日本語で発話する]. 其の[日本語で発話する]. sería este [前の文を指す]. そのため, 其の[日本語で発話する]. el texto de origen y el texto final の間が[日本語で発話する]. la diferencia que hay, 予想[日本語で発話する] es pre, bueno, prevenir. ¿no? Si, que hay que prevenir o ser conscientes, 予想[日本語で発話する] es imaginar? Si, es imaginar, pero 予想する[日本語で発話する] es prevenir. [オンライン辞書 Jisho.org で「予想」を調べる.] Esperar, si, prevenir. Que ya tienes que saber que va a haber una diferencia entre los dos textos.	たしかに、ほかの「その」があります。ここには、たさんの「その」[ため]があります。「その」はこれ [行番号5]を指す]だと思います。「そのため」では、オリジナルのテクストと目標テクストの間、その意があり、「予想」は、まー、予告する、用心する、ですか? はい、警戒するとか、意識するとか? 「予想」は想像するですか? はい、想像するですね。でも「予想する」は警戒する。「オンライン辞書 Jisho.org」で「予想」を調べる。]待つ、期待するという意味です。はい、警戒するですね。つまり、この2つのテキストの間には差があることを知らなければならないということですが。		
65	そこで、本研究では特にユーモアの翻訳における「結束性」という観点から ST (英語)、TT1 (吹き替え)、TT2 (字幕) を比較分析し、3 つのテキストの特徴を抽出することで、吹き替えや字幕が制限の中でどのように構成されているのかを探る。	そこで、そこで [日本語で発話する] supongo que es そこで、本研究では特にユーモアの翻訳における [日本語で発話する]. ¡Ah. Otra vez ha aparecido. Aquí ya ha aparecido la palabra esta [行番号65の「結束性」を指す] [聞き取り不能]. 行番号51を指す Vale, entonces aquí ya, todo esto [前文全部を指す] era la introducción y aquí ya explica lo que va a hacer él. Porque o. Si, lo que hará él. Porque es el 本研究では特に [日本語で発話する]. bueno, en los libros de investigación, 本研究、本研究では [日本語で発話する]. Ah, ほん [日本語で発話する] es, ほん [日本語で発話する] es esta. En esta, especialmente se va a centrar en la traducción del humor, otra vez aquí es 結束性というんから [日本語で発話する]. de inglés, a doblaje [行番号65の「吹き替え」を指す] y subtítulo [行番号65の「字幕」を指す]. Vale, hará un análisis comparativo de los tres textos. Las peculiaridades que tienen. Las destacará, las peculiaridades que tiene cada texto. Y explicará las limitaciones que tiene el doblaje y la substitución y como se solucionan.	「そこで、そこで」、たぶん、これは「そこで」本研究では特にユーモアの翻訳における。あ。また出てきました。ここで、この言葉 [行番号65の「結束性」を指す] はすでに出てきました [聞き取り不能]。はい、そうすると、ここにすでに、これ全部 [前文全部を指す] は序文であって、そして、ここにすでに彼がしていることが説明されています。なぜなら、あるいは、はい、彼がすることです。なぜなら、この「本研究では特に」です。まー、研究論文書においては、彼のとはいませんが、研究の、「本研究、本研究では」、あ、「ほん」というのは、これという意味の「ほん」です。これにおいては、特にユーモアの翻訳に集中される。また再びここにあらは、「結束性」というんから、英語、吹き替え [「吹き替え」を指す] と字幕スーパー [「字幕」を指す] です。はい、三つのテキストの比較分析をします。そこに見出される特徴に関してです。それぞれのテクストの特徴が浮き彫りされます。そして吹き替えや、そして吹き替えや字幕の持っている限界、またそれを動解決するかについて説明されます。		
66		Esto como es el trabajo que estoy haciendo yo también [笑う]	これは今私が取り組んでいる仕事でもあります [笑う]。		
67					この言葉 [「結束性」を指す] の意味はなんなのでしょうか。この文章はこれについて話されているようですが。
68		Si, no, supongo que como dice que es la unión de como, esto, ¿no? Esto de aquí, sería [行番号51の「oral, written, visual」といった複数のコミュニケーション・チャンネルが共存し]の文を指す] Claro, esto [行番号65の「結束性」を指す] se parece un poquito a esto [行番号51の「共存」を指す]. por, por lo de unirse, ¿no?	はい、まー、想像するに、結合とか言うような意味で、まー、ア [行番号51の「oral, written, visual」といった複数のコミュニケーション・チャンネルが共存し]の文を指す]。はい、三つのテキストの比較分析をします。そこに見出される特徴に関してです。それぞれのテクストの特徴が浮き彫りされます。そして吹き替えや、そして吹き替えや字幕の持っている限界、またそれを動解決するかについて説明されます。		
69				うーん、はい。	
70		Que esto sí que lo. ¡Ah. Aquí es [「観点」を指す] というんから [日本語で発話する]. Si, claro. Tampoco no dice muy bien que es esto, pero tendría que ser esto [行番号51の「oral, written, visual」を指す]. vaya.	これは確かに、あ、ここ [「観点」を指す] というんから]にあります。はい、そうです。でもあまりはっきりとは言っていないですが、まー、これらのこと [行番号51の「oral, written, visual」を指す] ははずだと思えます。		
71				うーん。	
72		Vale.	はい。		
73				そうですね。時間は大丈夫ですか。	

86	p.71	では、字数や時間に制限のある AVT でユーモアを翻訳しなければならぬ場合は、一体どうなるのだろうか。	では字数や時間に制限のあるAVTでユーモアを「日本語で発話する」[5秒間沈黙] Vale, entonces dice que el humor en general es difícil de traducirlo, pero si además tienes estos límites, que son los límites que tiene la traducción audiovisual, que es de lo que está hablando, y claro, tienes que traducirlo en ese límite, en ese caso, ¿qué pasa? Lo que puede pasar, pues se pregunta también, ¿que pasará, no? 一体どうなるのだろうか[日本語で発話する]。Claro, es la opinión, ¿no? El supone, en plan diciendo, pregunta, ¿no?	「では字数や時間に制限のあるAVTでユーモアを。」[5秒間沈黙]はい、そうすると、ユーモアは一般的に翻訳するのは難しい。でもそれに制限があったり、それは視聴覚翻訳が持っている制限で、今話していることでもあり、そしてこの場合、たしかにこれらの制限の中で翻訳しなければならない、と言っています。なにが起るのだろうか。起こりうることは、質問もして、なにがあるのだろうか、ですね?「一体どうなるのだろうか」そうです。それが意見ですね?彼は推測して、質問の形をとって言っています、そうですね?		
87						この「[字数や時間]を指す」制限で?
88			Con este límite. Sí.	この制限で、はい。		
89						あー、視聴覚翻訳にはこの制限があるということ。
90			Claro, sí.	たしかに、はい。		
91						でもユーモアを翻訳しなければならない場合は。
92			En este caso, ¿qué pasará?	その場合は、どうなるのだろうか。		
93						これはどういう意味ですか。えーと、これはちょっと。
94			Si, primero te digo, creo, aquí dice[行番号85の「翻訳するのが難しい」を指す], el traducir humor es difícil, solo. Traducir humor es difícil, si encima tienes que traducir humor en, en traducción audiovisual que tiene más límites, ¿qué pasará?	はい、最初は、私の考えですが、ここ「翻訳するのが難しい」を指すで言っている翻訳するのは難しいだけ、ユーモアを翻訳するのは難しい、その上、視聴覚翻訳のユーモアを翻訳する場合は更に三つの制限が課せられます、どうなるのだろうか、と言うことです。		
95						うーん。
96			Si lo pones aún más difícil, ¿qué pasará? Claro, no es solo traducir humor, sino traducir humor con un, con unos límites. Y tienes que traducirlo sí o sí. No puedes quitar estos límites porque estás traduciendo traducción audiovisual. Es como, supongo, no sé pero supongo que será como la imagen o el tiempo también. Entonces, es como, si subes el nivel aún más difícil, ¿qué pasará?	更にもっと難しくなるわけですね。どうなりますか?そうすると、ユーモアを翻訳するというだけではなく、ユーモアをこの三つの制限をもって翻訳するわけですね。そしてどうしても翻訳しなければならないのです。この三つの制限を除くわけにはいきません。なぜなら視聴覚翻訳をしているからです。それは、推測ですが、確かではありませんが、時間とかイメージのようなものだと思います。そうすると、それは、レベルが更に上がって、もっと難しくなったら、どうなるのだろうか。		
97						うーん。
98	p.71p.72	制限があるため詳細に説明することが許されないAVT では、ユーモアを翻訳できないこともあるだろうか。	制限があるため詳細に説明することが許されない[日本語で発話する]。 Vale, entonces está diciendo, ¿qué quiere decir esto del límite[日本語で発話する]。 El límite[日本語で発話する] quiero decir que, si es una traducción, sí. Estos límites no, no permiten, sí. No permiten una, una explicación detallada. Entonces, es la traducción, ¿no? En este caso es la traducción, en plan, la traducción audiovisual que es una traducción que no permite explicar, las cosas con, detalladas o con mucho texto porque tiene estos límites de aquí. O sea, esta traducción ユーモアを翻訳できないこともある[日本語で発話する]。 Claro, entonces, como es este tipo de traducción con tanto límite, y que no puedes traducir con detalle. Cuando tienes que traducir humor, que, el humor no se puede, eeh, explicar, ¿qué, qué, qué pasará? Luego, como está diciendo que es su '目的[日本語で発話する][行番号76の「目的」を指す], supongo que está preguntando, ¿no? En plan de, ¿qué pasaría si asaa esto? Y entonces supongo que el '目的[日本語で発話する]' será responder estos, estas preguntas de aquí.	「制限があるため詳細に説明することが許されない。」はい、そうすると、言っていることは、この「制限」と言うのはどんな意味ですか。この「制限」というのは、それは、一つの翻訳であって、はい、これらの制限は許さない、はい、詳しい説明を許しません、そうすると、その翻訳です、ですよね?その翻訳のこの場合において、視聴覚翻訳は説明をすることを許されてはなくて、これらのここで言う制限があるので異なる字種の詳しい説明はできません。つまり、この翻訳は「ユーモアを翻訳できないこともあるだろう」、そうすると、このようなこれらの皆さんの制限がある翻訳のタイプは、細かごとくまで翻訳することはできません、ユーモアを翻訳することは、ユーモアはできない、えー、説明が、どうなりますか、そして、書いてあるように、その「目的」[項目の「目的」を指す]、推測するに、これは質問しているんですよ、どうなるのだろうか、と、そして、推測するに、「目的」は、ここでこれらの質問に、答えるということだと思います。		
99	p.72	しかし、そのような制限の中で翻訳行為をしているからこそ、翻訳者の工夫がはっきりと見ることができると考えられる。	しかし[日本語で発話する]。 Bueno, sin embargo. Vale. Es difícil pero, そのような制限の中で翻訳行為をしているからこそ、翻訳者の、がはっきりと見ることができると考えられる[日本語で発話する]。 A ver. Este tipo de, Dentro de este tipo de, de límites, 行為翻訳行為[日本語で発話する] es una manera de traducir, ¿no? Sí. Una manera de traducir, しているからこそ[日本語で発話する]。 Justo porque se está traduciendo de esta manera, ところが「工夫の読み間違い」がはっきりと見ることができると考えられる[日本語で発話する]。 Vale, entonces, como, en este tipo de límites hay un tipo de traducción, se hace, hay un, exige un tipo de traducción, ¿no, から、こ[日本語で発話する]。 la, inven- ¿inventiva? El ingenio del traductor se puede ver. O sea, se piensa que se puede ver claramente las técnicas, supongo, que utiliza el traductor para traducir este tipo de, de humor.	「しかし」まー、しかしながら、はい、難しいですけれど、でも、「そのような制限の中で翻訳行為をしているからこそ、翻訳者の、がはっきりと見ることができると考えられる」。えーと、このタイプの、このタイプの制限において、「行為、翻訳行為」は翻訳の一つのやり方、ですね?翻訳の一つのやり方「しているからこそ」丁度、この方法で翻訳されている。「こうも」「工夫」の読み間違いがはっきりと見ることができると考えられる。はい、そうすると、それは、そのタイプにおいて、あるひとつの翻訳があり、行われる、存在する、一つのタイプの翻訳が要求される、ですね?「からこそ」、その、独、独創性?翻訳者の工夫が見られるということ。つまり、技術的明確に、それがはっきりと見えます。推測ですが、翻訳者がこのタイプのユーモアを翻訳するために使う技術です。		
100		そこで本研究では、ユーモアが吹き替えと字幕の中でのどのように訳出されているのかを考察する。	Y luego, claro, luego lo explica aquí. その本研究は、では、ユーモアが字幕の中でのどのように訳出されているのかを考察する[日本語で発話する]。 Claro, dice, esto es muy difícil pero gracias a que es difícil, esto se puede observar muy bien. Entonces, en este, en esta investigación lo que haremos será mirar. Mirar eso.	そして、確かに、ここで説明しています。「その本研究は、では、ユーモアが字幕の中でのどのように訳出されているのかを考察する」。そうです。これは非常に難しいが、難しいということのお蔭で、これはよく観察する事ができると言っています。そうすると、これにおいて、この研究において、私たちがすることは見るといことです。見る、それです。		
101		それを結果性の観点から分析することで、ユーモア翻訳研究に考察を加えることを試みる。	それを結果性の観点から分析することで、ユーモア[日本語で発話する]。 [小声で文を讀む] Vale, entonces lo que quiere, lo que quiere hacer es evaluar este, observar este este tipo de traducción pero no solo en general, sino desde el punto de vista de como se unen estos tipos de, de canales que ha dicho antes y [日本語で発話する] [聞き取り不能]を[日本語で発話する]。 Esto qué es? [行番号101の「考察」を指す]を加えることは[日本語で発話する] y que quiere demostrar algo o probar algo, pero esto no sé, es[オンライン辞書.Jisho.orgで「考察」を調べる]。 Consideración, investigar y que quiere. Si, no, es como, esto[行番号101の「加える」を指す] es, puede ser responder, ¿no? Esto es responder a este tipo de. A ver,[オンライン辞書.Jisho.orgで「加える」を調べる] To add, to increase[英語で発話する] Ah, incluir, vale. Entonces lo que quiere hacer es analizar el humor pero añadiendo este tipo[行番号101の「結果性の観点から」を指す] de, de matiz, ¿no? Que no es humor a secas, sino que es humor desde este tipo de punto de vista, e investigar sobre ello. Entonces, esta es el, el '目的[日本語で発話する]。 Es este de aquí. Sería el final.	「それを結果性の観点から分析することで、ユーモア」[小声で文を讀む]はい、そうすると、やりたい、やりたいことはこれを評価して、これを観察して、このタイプの翻訳を、でも表面的だけではなく、前にも言ったこれらのチャンネルから結合した観点からです。そして「[「考察まで聞き取り不能」]を」、これ[行番号101の「考察」を指す]はなんですか。を加えることは、そしてなにを示したいのかは試すか、でもそれがなんだかわかりませんが、それは、[オンライン辞書.Jisho.orgで「考察」を調べる]。 考える、研究する、とあります。そしてやりたいことは、はい、いや、それは、これ[行番号101の「加える」を指す]で、もしかしたら返答する、ではありませんか、これにこのタイプの「加える」を調べる。えーと、[オンライン辞書.Jisho.orgで「加える」を調べる]To add, to increase[英語で発話する]。 あ、含むです。そうか、そうするとやりたいことはユーモアを分析する、でもこれらのタイプ[行番号101の「結果性の観点から」を指す]を含んだ上で、ということですね?単にユーモアだけというだけではなく、これらのタイプの観点からのユーモアで、そしてこれらについて研究するということですね。そうすると、これはその「目的」です、ここにあることです。最後までと言うこととなります。		
102						うーん。わかりましたか。

103		Si.	はい。		
104				えー、この研究の目的ですね。	
105		Si. Entonces, el objetivo en teoría sería esto del final[行番号100と101を指す]. que es, analizar desde el punto de vista de esta unión o convivencia de los canales que hablaba antes, el de qué manera se traducen los subtítulos y el doblaje en el humor. Desde este punto de vista.	はい、そうすると、目的はこの最後のところというところになります[「段落の最後の2つの文」を指す]。それは、結果というか、前にも話していたチャンネルの共存の観点から分析することで、それは、ユーザーの字幕や吹き替えのどんなやり方で翻訳するかということです		
106				そうすると、分析して比較することですか。	
107		Si, y lo analizarán.	はい、分析します。		
108				はい、工夫したことを[聞き取り不能]。	
109		Si.	はい。		
110				では、今日はここまでしましょう。お疲れ様でした。	
111				えーと、マンディからでしたわ。	
112	マンディ(2009)は、AVT は翻訳研究の中でも比較的新しく研究未開拓の分野で、「視聴覚翻訳は、多くの記述的研究及び創造的実践の場である」と述べている(マンディ, 2009, p. 319)。	Si, vale. Continuo leyendo desde マンディ [日本語で発話する]。マンディ [日本語で発話する]。el año, la AVT es [日本語で発話する]。[文を読む間、16秒間沈黙] Vale. A ver, aquí hay, hay dos [日本語で発話する]。entonces aquí [マンディを指す] hay un sujeto, aquí está, el primero dice マンディ [日本語で発話する]。Entonces, quiere decir como マンディは、と述べている、と述べている [日本語で発話する]。Entonces, todo esto es una cita de マンディ [日本語で発話する]。Además, マンディ [日本語で発話する] vuelve a estar aquí [行番号112の「マンディ」を指す] así que es una cita. Entonces, todo esto es una cita de マンディ [日本語で発話する]。Vale, entonces, マンディ [日本語で発話する] lo que dice es, la traducción audio, habla de la traducción audiovisual [13秒間非常に小さい声で読む]が聞き取り不能] Vale, a ver, porque esto [行番号112の「研究未開拓」を指す] si que lo entiendo, pero esto de aquí [行番号112の「拓」を指す] no [オンライン辞書 Jisho.org で「拓」を調べる] To open [英語で発話する]。	はい、わかりました。では「マンディ」のところから読み始めます。「マンディ」年号、「は」AVTは翻訳研究の中でも[文を読む間、16秒間沈黙]。はい、えーと、ここにあるのは、2つの「は」、それからここ「マンディを指す」に日本語一つあります。先ずは「マンディ」です。それで、「マンディは、と述べている、と述べている」、つまりマンディは言っているということですか。そして、これ[行番号112の「文の残りの部分」を指す]全部は「マンディ」が言っていることですか。そして、また「マンディ」が再び出てきて、ここ[行番号112の「マンディ」を指す]ですが、これは引用です。そうすると、これ全部が「マンディ」の引用ということですか。わかりました。それでは「マンディ」が言ったことは、オーディオ翻訳、視聴覚翻訳についてで、[13秒間非常に小さい声で読む]が聞き取り不能]はい、えーと、これ[「研究未開拓」を指す]はわかりませんが、でもこの[行番号112の「拓」を指す]はわかりません。[オンライン辞書 Jisho.org で「拓」を調べる。] To open [英語で発話する]。		
113		ひらく[日本語で発話する]? [辞書のページ全体にある全ての説明を読む] No, porque [日本語で発話する] no hay [日本語で発話する] aquí. ひらく [日本語で発話する]。A ver si esto de aquí [オンライン辞書 Jisho.org で「未開拓」を調べる]。Ah, vale [5秒間沈黙] Vale. のふんや [日本語で発話する] es un área de. Vale, a ver. Esto como muy largo y irá por partes. A ver lo que dice マンディ [日本語で発話する]。マンディ [日本語で発話する] dice que la traducción audiovisual eh, incluso en el campo de la investigación sobre la traducción, eh, compara, es como relativamente, relativamente nuevo, o sea, que es una, es un área de investigación que aún no está desarrollada y que es bastante nueva. Que aún no está desarrollada y que es bastante nueva. Vale, entonces.	「ひらく」? [辞書のページ全体にある全ての説明を読む]「わからないな、どうして」があるのか、ここには「ひらく」はないの。」「ひらく」ですか、えーと、もしここにあるこれが「オンライン辞書 Jisho.org で「未開拓」を調べる」。あー、そうか、わかりました。[5秒間沈黙]。そうか。「のふんや」、これ[行番号112の「分野」を指す]はある分野です。はい、えーと、これはとても良いので、部分に分けてやります。えーと、「マンディ」が言っていることは、「マンディ」は、視聴覚翻訳は、えー、翻訳の研究分野の中でも、えー、比較、比較的、比較的新しいと言っています。つまり、それはあること、それはまだ未開発の研究分野であること、そして、かなり新しいということ、まだ開発されていない、かなり新しい分野であると言っています。はい、そうすると。		
114				これがマンディが言っていることですね。	
115		Mmm. No, マンディ [日本語で発話する] ser a esto [行番号112を指す]。¿no? Lo que está, está entre.	うーん、いいえ。「マンディ」が言っているのはこれ[行番号112を指す]です。括弧の中にある文です。		
116				括弧ですか。	
117		Paréntesis. Si.	はい、括弧です。		
118				そうすると、助詞のまで?	
119		Sería lo que dice él.	それは彼が言っていることで、		
120				なにかについての説明ですか。	
121		La traducción audiovisual.	視聴覚翻訳です。		
122				あー、そうですか。	
123		Si, ¿no? Entonces, la traducción audiovisual es un campo de investigación que es bastante nuevo y que aún no se ha desarrollado, y entonces マンディ [日本語で発話する] dice, 視聴覚翻訳 [日本語で発話する] lo mismo [行番号112の「AVT」を指す]。La traducción audiovisual おおの、[日本語で発話する]。Vale, esto [行番号112の「記述」を指す] esto no sé qué es. Esto es hablar y escribir o tener por escrito o, que es más o menos lo mismo que está diciendo [オンライン辞書 Jisho.org で「記述」を調べる]。Description [英語で発話する] 記述 [日本語で発話する]。Descriptivamente. Esto [行番号112の「創造的」を指す] es creativamente. じっせんのほである [日本語で発話する]。Vale [7秒間沈黙]。Porque esto [行番号112の「及び」を指す] [オンライン辞書 Jisho.org で「及び」を調べる] Ah, vale. Es un "y". Vale. Entonces, esto y esto. [「記述的かつ創造的」を指す]。Pasa que, aquí [行番号112の「視聴覚翻訳」を指す] dice que la traducción audiovisual, en muchas de las descripciones y las, bueno, las descripciones no.	はい、そうですね。そうすると、視聴覚翻訳は研究分野としてはかなり新しく、まだ開発されていなくて、そして「マンディ」が言うには、「視聴覚翻訳」、これ[「AVT」を指す]は同じことです。「おおの」、視聴覚翻訳。はい、これ[「記述」を指す]はある分野です。はい、えーと、これは、話すとき、あるいは、書いてあるものを持つ、あるいは、大体言っていることと同じようなこと。[オンライン辞書 Jisho.org で「記述」を調べる。] Description [英語で発話する]と言う意味です。「記述」、記述的、これ[「創造的」を指す]は創造的という意味です。「じっせんのほである」とは、「[7秒間沈黙]。なぜならこれは、「[及び]」を指す。」[オンライン辞書 Jisho.org で「及び」を調べる。]「あー、そうか。これは助詞の」という意味です。はい、そうすると、これとこれは[「記述的かつ創造的」を指す]。しかし、ここ[「視聴覚翻訳」を指す]で視聴覚翻訳は、多くの記述とまー、記述が。		
124		Esto [行番号112の「実践」を指す] es un análisis sobre prácticas llevadas a cabo a nivel descriptivo o creativo. Este [行番号112の「場」を指す]「場、場」[日本語で発話する] de 場所 [日本語で発話する]? De ところ [日本語で発話する] de lugar?	これ[「実践」を指す]は記述的かつ想像的なレベルまでに結びつく実践についての分析ということ。これ[「場」を指す]は「場」、場所?「場所?」と「ところ」という意味の言葉ですか。		
125				うーん。	

126		Que es un lugar de análisis. Claro, entonces, aquí lo que está diciendo es que la traducción audiovisual es un lugar, o supongo que es, un lugar, es raro decir un lugar aquí, pero, Como un área, ¿no? Una分野[日本語で発話する] que tiene muchos, es que claro, dice que es análisis, un examen, es un, una puesta en práctica. Me imagino la idea pero no sé exactamente significado, [オンライン辞書Jisho.orgで実践]を調べる。Si, es una práctica. Implementación. Tanto creativa como descriptiva, y que hay muchas, と述べている[日本語で発話する]	分析の、場所ということ。そうか、そうするとここで言っていることは、視覚翻訳はある一つの場所と考えられ、あるいは、推測ですが、それはある場所、ここで場所というのは変な言い方ですが、でも、分野と言うような意味ですか。たくさん持っている一つの「分野」そうです。分析、ある試験、ある、実践の試しといつか、考えは想像できるのですが、明確な意味はわかりません。[オンライン辞書Jisho.orgで実践]を調べる。]はい、実践や実験です。創造的であり、記述的である実践がたくさんあると述べていると書いているということですか。		
127				今場をどう理解しますか。	
128		Claro, el 場[日本語で発話する]。Claro, es que 場[日本語で発話する] es es 場[日本語で発話する] de 場所[日本語で発話する], pero, pero, 場[日本語で発話する]? A ver, como no sea igual que 分野[日本語で発話する]行番号112の「分野」を指す。	そうですね、この「場」、そうですね。「場」は「場所」の「場」ですが、でも、でも、「ば」? えと、「分野」「分野」を指すと同じではないとすると。		
129				うーん、えと。	
130		A ver 場[日本語で発話する][オンライン辞書Jisho.orgで「場」を調べる。]。Place[英語で発話する]。spot。Si, ¿no? Un campo, una disciplina[最初の検索結果の2番目の語義]を指す。	えと、「場」[オンライン辞書Jisho.orgで「場」を調べる。]、Place[英語で発話する]、と、この、はい、そうですね。一つの分野、一つの規律[最初の検索結果の2番目の語義]を指す。		
131				うーん。	
132		Claro, entonces dice que es una discipli, que la traducción audiovisual es una disciplina en la que muchas de las prácticas o, si, puestas a cabo son tanto creativas como descriptivas. Y esto es lo que dice manディ[日本語で発話する]。Vale, entonces, la idea más o menos es lo que está diciendo, explicando un poco más lo que dice aquí. Que aquí dice que es nuevo, pero, dice que es nuevo y que es, la mayoría de investigaciones que hay en esta área son de esta manera[行番号112の「記述的」を指す y de esta manera[行番号112の「創造的」を指す]。Si, ¿no? Si.	たしかに、そうすると、視覚翻訳は多くある実践の一つの規律、あるいは、はい、創造的と同様に記述的な状態になる場所です。そしてこれは「マンディ」の言っていることです。はい、そうすると、その考えは大体ここに書いてあることを書いて、説明しています。ここで書いているのは更新、とうとうとでも新しくほとんどのこの分野の研究は、この[行番号112の「記述的」を指す]方法とこの[行番号112の「創造的」を指す]で行われると言っています。はい、そうですね? はい。		
133	また、このような「映像翻訳」についての研究は翻訳理論の中でも注目され始めた領域であり、特に90年代以降研究成果が徐々に積み重ねられてきている。(藤満, 2007, p. 116)とされる。	Entonces, a ver, また[日本語で発話する]。Vale, Y, o, pero o más información, このような映像翻訳についての研究は翻訳理論の中でも[日本語で発話する]。[「であり」まで文を読むが聞き取り不能]。Vale, entonces está dicien, esto supongo que también es manディ[日本語で発話する]。Ah, no. Esto es otro hombre[行番号133「藤満」を指す]。Entonces, manディ[日本語で発話する] dice esto[行番号112を指す]。y además, otra persona dice, que las investigaciones sobre la traducción audiovisual, bueno. Esto「映像」を指す] es visual, solo. Primero es 翻訳[日本語で発話する]。esta[行番号112 AVTIは翻訳研究の「翻訳」を指す] es la 翻訳[日本語で発話する] a secas, y esta[行番号112の「視覚翻訳」を指す] es la しちよはんやく[「視覚翻訳」の読み間違い] [日本語で発話する]。y esta[行番号133の「映像翻訳」を指す] es la 映像翻訳[日本語で発話する]。O sea que eso es visual, igualmente. ¿Qué diferencia hay entre しちよ[日本語で発話する]?	そうすると、えと、「また」、はい、そして、あるいは、でも、あるいは、もっと情報か、「この映像翻訳」についての研究は翻訳理論の中でも、「であり」まで文を読むが聞き取り不能、はい、そうすると書いているのは、おそろくですが、また「マンディ」です。あー、いいえ違います。これはほかの人[行番号133「藤満」を指す]です。そうすると「マンディ」が言っているのはこれ[行番号112を指す]です。そして、ほかの人が言っているのは、視覚翻訳に関する研究は、まー、これ[行番号133「映像」を指す]はビジュアルだけです。最初の「翻訳」で、これ[行番号112 AVTIは翻訳研究の「翻訳」を指す]はそのものずばりで、これ[行番号112の「視覚翻訳」を指す]は「しちよはんやく」[「視覚翻訳」の読み間違い]で、これ[行番号133「映像翻訳」を指す]は「映像翻訳」です。つまり、これも同様にビジュアルです。「しちよ」とどんな違いがあるのですか。		
134				なにが違うかということですか。	
135		A ver, Ah, no. Esto[行番号112の「視覚翻訳」を指す] es au- bueno, audio visu- no, a, revés. Visual audio. La traducción, pero esto[行番号133の「映像翻訳」を指す] es solo, solo visual. ¿No? Si, eso es solo ver, [オンライン辞書Jisho.orgで「映像」を調べる。] Si, ¿ves? Esto es visual. Esta no es audio. 映像翻訳についての研究は翻訳理論の中でも、特に[日本語で発話する]。[文を読むが聞き取り不能]。Vale, aquí, supongo en realidad tendría que referirse también, porque visual, ¿traducción visual? No hay, que yo sepa. Tiene que ser audiovisual. Igualmente, quizá bueno quizás porque el año es diferente la llaman de otro nombre. Pero igualmente, porque está hablando de lo mismo, está diciendo que dentro de la investigación, ese tipo de traducción, eeh, ha empezado, es un territorio que es como el, sí[日本語で発話する] de antes. Es un territorio en el que se ha empezado a prestar atención y especialmente a partir de los años noventa 研究成果が[日本語で発話する]。El resultado de esta investigación se han ido acumulando, sí, se han ido acumulando.	えと、あ、間違えました。これ[行番号112の「視覚翻訳」を指す]は、オー、まー、オーディオビジュアル、いや、間違えました。反対です。視覚です。その翻訳、でもこれ[行番号133の「映像翻訳」を指す]は視覚だけです。[オンライン辞書Jisho.orgで「映像」を調べる。]はい、見えますか。映像だけです。これはオーディオではありません。「映像翻訳」についての研究は翻訳理論の中でも、特に、[文を読むが聞き取り不能]はい、ここで、おそろく、実際には、まだ明確にどのことなのか言うべきだと思いますが、なぜなら映像、映像翻訳なのか? でもありません。私が知る限りでは、視覚です。同時に、たぶん、まー、たぶん、なぜなら年号は違って、違う名前前で呼んでいます。でも同時に、なぜなら同じ事を話しているからで、言っているのは研究において、このタイプの翻訳は、えと、始められた。領域はその、その前の「ば」のようなもので、その領域において注目され始めて、特に90年代から「研究成果が」、この研究の結果は蓄積されて、はい、積み重ねられてきました。		
136		Que se han ido haciendo- supongo porque se han ido haciendo más investigaciones y los resultad, 成果[日本語で発話する]。no. Es 成果[日本語で発話する]。成果[日本語で発話する] y 効果[日本語で発話する]。¿no es lo mismo? [オンライン辞書Jisho.orgで「成果」を調べる。]Resultados ¿no? Si, vale. Pues que a partir de los años noventa, los resultados de esas investigaciones se han ido acumulando, とされる[日本語で発話する]。Supongo que とされる[日本語で発話する] es igual a と述べている[日本語で発話する]。Vale, entonces, esto[今読んだ現在訳している2つの文の段落]を指す] es primero, ¿qué está diciendo? Qué es un campo muy nuevo, que hay diferentes tipos de investigaciones y que se ha empezado a hacer sobretodo a partir de los años noventa.	なにがなされてきたか、おそろく、もっと研究がなされてきたので、それらの結果、「成果」「効果」ではなく、違います。それは「せいか」です。「成果」と「効果」、おなじではありませんか。[オンライン辞書Jisho.orgで「成果」を調べる。]結果ですね? はい、わかりました。90年代以降、これらの研究の成果は積み重ねられた。「とされる」、おそろく、「とされる」は「と述べている」と同じことだと思います。はい、そうすると、これ[今読んだ現在訳している2つの文の段落]を指す]は初めてで、なにを言っていたか、それは新しい分野であり、異なるタイプの研究があり、なによりも90年代から始められたということですか。		
137	しかし、この分野で日本語と英語を比較した研究はまだ少ない。	Entonces, しかしこの分野で日本語と英語を比較した研究はまだ少ない[日本語で発話する]。Vale, o sea, dice que de esto hay mucho, pero en japonés y inglés hay muy pocas investigaciones.	そして、「しかしこの分野で日本語と英語を比較した研究はまだ少ない」、はい、つまりこれらはたくさんあるが、でも日本語と英語の研究は少ないといっています。		
138				うーん、えと。	
139		Traducción de japonés y del inglés.	日本語と英語の翻訳です。		
140				そうですね。	
141		Si, ¿no? この分野で 比較した研究[日本語で発話する]。sí. Es un análisis comparativo del inglés y del japonés, que es lo que está haciendo ahora él, este señor.	はい、そうですね? 「この分野で、比較した研究」、はい、英語と日本語の比較分析で、今の人はそれをしています。		
142				うーん。	

143	そのため、AVT という分野で日英語比較の研究を試みることに意義があると考える。	Pues, para el AVT de este campo de [日本語で発話する] eh, ¡aí! [日本語で発話する] Ah, vale [聞き取り不能] Uy, ¿esto? [意義を指す] ¡ahí! [日本語で発話する] Voluntad, opinión. [オンライン辞書 Jisho.org で「意義」を調べる] Ah vale, que es importante. Vale, entonces, claro, como hay muy pocos, pues es important, él piensa que es importante hacer este tipo de investigaciones, que hay muy pocas todavía	それで、「そのためAVTという分野で、えー、「はいご」? あー、はい、[聞き取り不能]。うい、これは? [行番号143の「意義」を指す]。[「さ」? 意味と意見とでいうか。[オンライン辞書 Jisho.org で「意義」を調べる]あ、はい、重要です。はい、そうすると、たしかに、少ししかないんで、重要で、彼はそう考えるわけで、このタイプの研究をするのは重要である。しかもまだ少ないということですよ。			
144	本研究を通して、ユーモアがどう翻訳され、それが吹き替えと字幕でどのように構成されているか明らかにできれば、今後 AVT に関わる者にとって訳出の指針になるのではないだろうか。	Entonces, ahora habla del suyo. Todo esto era explicación pero dice, vale, pues en esta investigación ユーモアがどう翻訳され、それが吹き替えと[日本語で発話する] [聞き取り不能]。Vale, entonces lo que dice es, que en esta investigación que vamos a leer ahora, lo que ha hecho él. Se hablará de, bueno, se ha [5秒間沈黙] entonces claro, se hará. Se aportará luz a, sí. Como que, bueno, se explicará que como cambia [それが日本語で発話する] Como se elaboran traducción del humor en el doblaje y en los subtítulos y si se consigue explicar esto y hacer que esto sea, se entienda, 今後AVTに関わる者にとって[日本語で発話する] [5秒間沈黙] A ver esto, que aquí, las últimas palabras son las que no entiendo. [オンライン辞書 Jisho.org で「訳出」を調べる] Claro, ah, ¿Esto también es translation [英語で発話する] 訳出, 訳出 [日本語で発話する]。Y esto [行番号144の「指針」を指す] era un plano objetivo.	そして、これから彼の考えを話します、これらは全部は説明したが、はい、この研究において、「ユーモアがどう翻訳され、それが吹き替えと[聞き取り不能]。はい、そうすると、ここで言っていることは、この研究において、彼がやったことを今から読んでいきます。なにが話されるかという、まー、それは、[5秒間沈黙]そうすると、たしかに、行われます。光がもたらされるかどうか、というのは、まー、どのように変わるかが説明され、「それが、」吹き替えと字幕におけるユーモア翻訳でどのように行われるか、そしてそれを説明することができた、それを明確にすることになるということです。「今後AVTに関わる者にとって」[5秒間沈黙]「さーと、これは、ここに、これらの最後の言葉がわかりません。[オンライン辞書 Jisho.org で「訳出」を調べる]」そうか、あ、これも translation [英語で発話する] と言意味、「訳出、訳出」。そしてこれ[行番号144の「指針」を指す]は目的図でした。			
145		[オンライン辞書 Jisho.org で「指針」を調べる] Una guía. Vale, y entonces, si esto funciona, si la investigación va bien, puede ser que esto se convierta en una guía o, si en una guía para las person, sí, dice personas, aquí [行番号144の「者」を指す], para las personas que trabajan con la traducción. Vale, como el objetivo, ¿no? ser a.	[オンライン辞書 Jisho.org で「指針」を調べる]。ガイド、そうか、そうすると、もしこれが機能すれば、つまり研究がうまくいけば、これは一つのガイド、あるいは、はい、人々にとって、はい、人々と言っています、これ「者」を指す]がありますから、翻訳をする人のための一つのガイドになりうると言っています。			
146					正確には、なにが明らかになるのですか。これ「構成」を指すは?	
147		構成 [日本語で発話する]。	「構成」。			
148					されているか明らかに、明らかにわかりましたね。	
149		Si.	はい。			
150					では、どのように構成されているかはどういう意味ですか。	
151		Supongo	おそらく、その。			
152					方法論についてですか。	
153		Sí, bueno, en este caso, supongo que metodológica o analizar como lo hacen. Si, no. Sería metodológica en este caso. O sea, como se traduce el humor, de qué manera ¿no? De qué manera se hace el humor. Se traduce.	はい、まー、この場合、推測するに、方法論から分析するとか、どのようにするか。はい、この場合とは方法論ということになりま。つまり、ユーモアをどのように翻訳するか、どのような方法で、すよね? ユーモアはどのような方法でなされるかです。訳されるかです。			
154					うーん。そうですね。どのような方法で。	
155		Si, ¿no? Como una guía, supongo que es como ponerlo por escrito. No que tener el resultado de la traducción, sino decir, ah mira, aquí han hecho esto, esto, esto y esto. Entonces, cuando alguien lo lea dirá, ah mira, pues para traducir el humor se puede hacer esto, esto y esto, que es con la que ha hecho otra persona antes, y entonces aquí se ha, como puesto por escrito y supongo que quiere decir esto, ¿no? Poner más claro. [5秒間沈黙]	はい、そうですね? ガイドとして、推測ですが、書いておこうという、翻訳の結果を出すというのではなく、物語るといって、あー、見てください、これと、これと、これはこうやったというように。そうすると、それを確かが見ると言います。見て頂かないと、ユーモアを訳するにはこれと、これと、これをすればいいと言います。それは前にほかの人が実際にやったことで、ここに書かれていてからです。つまり、このようにすよね? なるべし明らかに書くことです。[5秒間沈黙]			
156					続けましょう。	
157		Vale.	はい。			
158					今度はなにについてですか。	
159	2. 先行研究	Otro apartado, que es 先行研究 [日本語で発話する]。que supongo que es la que viene antes. Entonces son investigaciones que venían antes de la que va a hacer él.	別の項目で、「先行研究」で、思うに前のものという意味です。そうするとこれは、彼が行う前に行われた研究です。			
160					普通はそれはなんと言いますか。	
161		No sé, saki [日本語で発話する]。Como sea saki saki [日本語で発話する]。	知りません。「saki」、「saki saki」でしょうか。			
162					意味的にはそうですが。	
163		[オンライン辞書 Jisho.org で「先行」を調べる] Ah, sí. 先行 [日本語で発話する]。"Proceeding, going first". Si, entonces son como investigaciones anteriores. Entonces, supongo que, a ver, tendría que estar [「テキストのPDFのページ24の項目まで見る]。No bueno, aquí [「24ユーモア」を指す] empieza lo suyo, que es lo del humor. Supongo que aquí [「先行研究」を指す] es un poco para poner en contexto lo que el va a decir.	[オンライン辞書 Jisho.org で「先行」を調べる]。あー、はい、「先行」。「先に行く、初めに」という意味です。はい、そうすると、これは前に行われた研究ということ、そうすると、推測ですが、えーと、あるはずですが「テキストのPDFのページ24の項目まで見る」。まー、ここ [「24ユーモア」を指す] から彼のが始まって、それはユーモアに関することです。たぶん、これ「先行研究」を指すは、これから話すことの、少し文脈として出すということだと思います。			
164					もし興味があれば、読んでください。研究のテキストに入りたければ飛ばしてもいいですよ。どちらでも、いつも自分で読むように、読んでください。	
165	2.1 AVT は視聴覚翻訳や映像翻訳などいくつかの呼び方があるが (マンディ、2009)、ここでは「AVT」として呼ぶことにする。Gambier (2003) は「dominant」と「challenging」という二つに AVT を分類している。前者が①字幕、②吹き替え、③逐次通訳、④同時通訳、⑤ボイスオーバー、⑥解説、⑦サイトラ、⑧多言語制作で、後者が①助成金等の申請の際に必要なシナリオの荒訳、②聴覚障害者向けの字幕 (クローズド・キャプション)、③リアルタイムでつける字幕、④オペラなどの字幕、⑤視覚障害者向けの音声描写である (Gambier, 2003; 福生, 2004)。ここから AVT はかなり広い概念を指していることが分かる。	Si, claro. [2.1 AVTの段落に目を通す] Por el nombre, bueno, estos son teóricos de la traducción no japoneses, pero también hay este [行番号165の「福生」を指す]。¿Son los los trabajos en el extranjero, no? Que aunque sean la 先行研究 [日本語で発話する]。de trabajos- bueno, de investigación de antecedentes, pero todos son, no de japoneses, digamos. No, en general, ¿no? Porque es sobre la traducción audiovisual. ¿que hay.	はい、そうですね。[2.1 AVTの段落に目を通す]。題名からでは、まー、これらは翻訳理論で、でも日本人ではなさそうですが、でもこれ [行番号165の「福生」を指す] もあります。これらは、外国での研究ですね? 「先行研究」前に行われた研究とありますけれども、全部日本人ではないですね。全体的にですが、そうですね? なぜならこれは視聴覚翻訳についてだからです。たしかにあることはあります。			
166					もしかしらこれらの著者の名前は聞いたことがありますか。	
167		Si. Un poco. Este sí [行番号175の「Hatim & Mason」を指す]。y este también [行番号165の「Gambier」を指す]。Este no [行番号165の「福生」を指す]。[英う]	はい、少し、これ [行番号175の「Hatim & Mason」を指す]。そしてこれも [行番号165の「Gambier」を指す]。これは知りません [行番号165の「福生」を指す] [英う]			

168					これは日本人ですね。
169		Si, y aquí [行番号191の]日本で、で始まる段落」を指す] sí que aparecen todos son japoneses ya.		はい、そしてここ[行番号191の]日本で、で始まる段落」を指す]は、出てくるのは日本人です。	
170					つまり、ここからですね。あ、違います。1992年ですね。ここは2000年以降ですか。
171		Si, aquí [「2.1AVT」の項目のはじめの段落」を指す] parece que es más la traducción audiovisual y luego de repente, aquí pone, 日本語で[日本語で発話する], y entonces, es como,		はい、ここ[「2.1AVT」の項目のはじめの段落」を指す]は視覚翻訳がもっと出ています。ここは、「ここは日本語で」とあります。そしてそれから。	
172					あー、そうですね。
173		Y entonces explica solo en Japón, ¿no? Si. Supongo que, a ver, [聞き取り不能] Aquí está como diciendo- diciendo quién ha dicho qué cosa, ¿no? Un poco. Tampoco no lo explica, porque como pone por lista, tampoco está diciendo qué es cada cosa. Simplemente pues, tal persona hizo esto, esto, esto y esto, esta persona habla de esto, y aquí en cambio, y en cambio aquí		そして日本におけることだけを説明していますね？はい、推測するに、えーと、[聞き取り不能]ここで言う、言っているのは、誰がなにを言ったかと言うことです。そうですね？少し。それにあまり説明していません、というの、リストになっていて、それぞれのことがなんだかも言っていない。単に、そう、誰がなにをしたかで、これと、これと、これとをした。この人はこれを言ったのですが、ここではその代わり、その代わりここでは	
174	ここで全てを扱うことはできないので、本研究では吹き替えと字幕のみを考察の対象とする。	[[最後の文の本研究では]を指す]できないので[日本語で発話する], todo esto, no puede hablar de todo y entonces dice que aquí solo hablará del, del doblaje y de los, de los subtítulos. Bueno, de todo esto que hay aquí.		[[最後の文の本研究では]を指す]「できないので」、これ全部は、全てを話すことはできないので、ここでは吹き替えと字幕だけを話すと言っています。まー、これ全部がここにあります。	
175	字幕翻訳の制約に関しては、Hatim & Mason (1997)が4つに分類している。	Y de aquí [「2番目の段落」を指す], Claro, es que como dice, 字幕[日本語で発話する], pues dice vale, pues entonces los 字幕[日本語で発話する], los subtítulos, Hatim y Mason, [聞き取り不能]		そして、ここ[「2番目の段落」を指す]のは、そう、「字幕」と言っているの、だから、はい、そうするとつまり、「字幕」字幕のことで、Hatim y Mason, [聞き取り不能、]	
176					これ[行番号175の「分類している」を指す]はどのような意味ですか。
177			分類している[日本語で発話する]?	「分類している」?	
178					うーん。
179		Supongo que la traducción de los subtítulos, es, estos dos señores [行番号175の「Hatim y Mason」を指す], la, lo dividen en, como en cuatro tipos de traducción.		おそらく、字幕の翻訳は、えー、この二人 [Hatim y Mason]を指す]は翻訳を4つのタイプに分けています。	
180	それが① 話し言葉から書き言葉へのシフトで、話し言葉の特長がTTで反映されないこと、② 意味を伝える媒体やチャンネルの要素、③④の結果、STの内容が減ること、④映像との整合性である(Hatim & Mason, 1997)。字幕翻訳では、このような制約の中で訳出しなければならないのである。	それが話し言葉から書き言葉へ[日本語で発話する],		「それが話し言葉から書き言葉へ、	
181					4つに分類している。
182		Si.		はい。	
183					グループに、これ[行番号175の「制約」を指す]はどのような意味ですか。
184		制約[日本語で発話する] El límite, [オンライン辞書 Jisho.orgで「制約」を調べる]. Si, el límite, El límite, Los límites que tiene. Supongo que serán los cuatro límites. Claro, el [「2」を指す], este [行番号180の「がTT」を指す] de aquí, luego está el 意味を伝える[日本語で発話する], esta otra [行番号180の「②と③」を指す]. A ver, está uno [行番号180の「それが①」を指す], dos [行番号180の「②意味」を指す], aquí esta el tres y dos [「③と②」を指す]?		「制約」、制限かな。 [オンライン辞書 Jisho.orgで「制約」を調べる]。はい、制限です。制限、それらの制限がある。おそらく、4つの制限のことだと思います。そうですね、その「シフト」、ここにあるこれ[行番号180の「がTT」を指す]とそれにこの「意味を伝える」、もう1つがこれ[行番号180の「②と③」を指す]です。えーと、①があります。[行番号180の「それが①」を指す]、②も[行番号180の「②意味」を指す]あります。ここにあるのは②と③[行番号180の「③と②」を指す]ですか。	
185					いいえ、3つでは。
186		Dos.		2つです。	
187					③と②ではなくて、③ですね。①、②、③です。そして②で文が始まります。
188		Dos, ah vale, [笑う] Claro, el tres tiene que ver con el, vale. El dos del resultado [日本語で発話する]. Vale. Claro, veo estos dos juntos y digo, uy espera, no puede ser.		2つ、あー、はい、[笑う、]そうですね、③が言っているのは、その、はい、②の結果です。はい、そうか、2つ一緒に見えますが、うーん、ちょっと待って、戻すけど。	
189					ちょっと混乱しているみたいですね。
190		Y el cutaro que sería 映像の[日本語で発話する] [5秒間聞き取り不能の声を文を読む]. Vale, entonces explica un poco en plan de, bueno, pues hay estos cuatro y son los, teniendo en cuenta estas cuatro limitaciones hay que traducir en los subtítulos. Entonces, están, es como, en general [「2.1AVT」の最初の段落」を指す], subtítulos [「2段落目」を指す] y subtítulos en japonés [「3段落目」を指す]		そして、そうすると4番目は「映像の」[5秒間聞き取り不能の声を文を読む]、はい、そうすると、説明のしかたがちよっと、まー、要するに4つあって、つまり、それにはこれらの4つの制限があって、それらで字幕を翻訳しなければいけないということです。そうすると、まー、全体的には、[「2.1AVT」の最初の段落」を指す]があって、字幕[「2段落目」を指す]と日本語の字幕[「3段落目」を指す]があるようです。	
191	日本で字幕が初めて現れたのは、昭和六年(1931年)の『モロッコ』という映画からである(清水, 1992, p. 10; 戸田, 1994, p. 25)。	はじめて、のは、しょうわろくねんの、モロッコ? モロッコという[日本語で発話する]. Ah, una película, [8秒間一つの文を聞き取り不能な声で読み、続けて次の文を読む]		「はじめて、のは、[「しょうわろくねんの、モロッコ? モロッコという」、あ、映画ですね。[8秒間一つの文を聞き取り不能な声で読み、続けて次の文を読む]	
192	日本でも字幕翻訳に関する本や論文は比較的多く、太田(1939.5)、清水(1992)、戸田(1994)などがそれにあたる。	Ah vale, a ver. Dice que. Al principio, por ejemplo, ponía que no había muchas investigaciones, pero aquí sí que dice que, que investigaciones no, pero libros que hablan sobre la traducción de subtítulos sí que hay. Que hay muchos en Japón. Este señor [行番号192の「太田」を指す], este [行番号192の「清水」を指す], este [行番号192の「戸田」を指す].		あ、はい、えーと、言っているのは、初めは、たとえば、あまり研究はなかったが、でもここに、研究はあると言っていて、でも、それは書籍で、字幕翻訳について話している、はい、確かにあります。日本のがたぶんあります。この人[「太田」を指す]、これも[「清水」を指す]そしてこれ[「戸田」を指す]もです。	
193					あー、それ全部が字幕についてですか。
194	字幕翻訳は、「観客にわかる字幕」(清水, 1992, p. 72)であることや、「字幕はテラツと目を走らせただけで、なんなく内容のつかめる文章」(戸田, 1994, p. 150)であることが求められているのが特徴的だと語るだろう。	字幕[日本語で発話する], sí parece que solo hay 字幕 [日本語で発話する]. En cambio, de inglés y japonés no, pero la traducción de hacer quizás, 字幕 [日本語で発話する] solo, sí que, [5秒間沈黙] Si, ¿ves [行番号194の「観客にわかる字幕」を指す]? Esto son 字幕 [日本語で発話する], no es muy bien traducción traducción, pero es, que tenga que ver con los, con los subtítulos. 字幕はテラツ、テラツと[日本語で発話する]? [聞き取り不能]		「字幕」、はい、見た感じでは「字幕」だけのよさです。その代わり、英語です。日本語ではありませんが、たぶん「字幕」だけをやる翻訳で、はい、[5秒間沈黙]、はい、そうですね[「観客にわかる字幕」を指す]。これらは「字幕」で、正確には翻訳ではないと思いますが、でも字幕に関しては「字幕」はテラツ、テラツと? [聞き取り不能、]	
195					これはどのような意味ですか、題名ですね。
196		Si. Son como,		はい、これらはその、	
197					本の題ですか。

198		De libros, ¿no? Está diciendo aquí, supongo que es bueno, pues antes de lo que voy a explicar yo, pues hay información en este libro, en este libro, en este libro. Y eso sería el título, ¿no? Si, de algún modo [日本語で発話する] [聞き取り不能]. Claro, porque sería charras [日本語で発話する], porque charras [日本語で発話する] no sé qué es, charras [日本語で発話する] sí, pero.	本のですよね？ここで言っているのは、たぶんですが、まー、つまり私が説明する前に、この本に情報があるって、この本に、この本に、そして、それが題となっているんですよね？はい、「で、あることが」[聞き取り不能]です。なぜなら「チャラ」と「なるわけ」でも「チャラ」と「なるわけ」は「チャラ」ならわかりますけど。		
199					これらの題の意味はなんでしょうか。題としては長いですね。
200		Si, 字幕はチャラと目を走らせただけで、難なく内容のつかめる文章 [日本語で発話する]. Vale, el sujeto es 文章, 字幕チャラと, チャラと [日本語で発話する] es de チャラ [日本語で発話する]. De, de, [オンライン辞書 Jisho.orgで「チャラ」とを調べる]. ¡Ah, [5秒間沈黙].	はい。「字幕はチャラと目を走らせただけで、難なく内容のつかめる文章」。はい、主語は「文章」「字幕チャラと」です。「チャラ」とは「チャラ」のこと？その「オンライン辞書 Jisho.orgで「チャラ」とを調べる」。あ、[5秒間沈黙]。		
201					出ていないですか。
202		No, [ejje.weblio.jpで「チャラ」とを調べる]. チャラと、チャラと目が [日本語で発話する]. ¡ Ah, mira! Es como una frase, ¿no? You looked at [英語で発話する]. Vale, チャラと目が、チャラと [日本語で発話する] es como vice, y esto [行番号194の「目を走らせた」を指す] 目を走ら [日本語で発話する]. supongo que es mirar en plan, así buuu. Corriendo. Entonces esto es チャラと目を走ら [日本語で発話する], ¿es? No, チャラとみる [日本語で発話する], sería. Mirar, en plan, un poco. Y entonces, solo haciendo eso, nanntan [日本語で発話する], será. nanntan [日本語で発話する] [日本語で発話する]. Ah, vale. Entender. Entonces, son como. Los subtítulos son una frase que mirándola así rápido, entiendes el significado de la, entiendes, puedes entender el significado, de la frase.	いいえ、[ejje.weblio.jpで「チャラ」とを調べる].「チャラと、チャラと目が！見てください。これは一つの文ですか？You looked at [英語で発話する]」[説明が出る]。はい、「チャラと目が、チャラと」これは、なにが副として、これ「目を走らせた」を指す。[目を走らせた]おそらく、1つの見方で、「ぶー」と、走って、そうすると、これは「チャラと目を走らせた」を指す。そうですね？だから「チャラとみる」は、ちょっと見るというふうなことです。それで、ただ見るだけで、その「なんとなん」は「なんとなん内容のつかめる」です。あ、はい、理解すること、そうすると、それらは、その、題名は1つの文になっていて、それはこのように早く見て、意味がわかる、わかる、文の意味がわかるということですよ。		
203					うーん。
204		Vale.	はい。		
205					これはおそらく字幕ですね。[笑う.]
206		Si, Vale, Si.	はい、そうです、はい。		
207					そうですね。それではやってみたかった箇所に入ります。
208 p.73	2.3 結束性	結束性 [日本語で発話する]. Vale.	「結束性」は、		
209					これは研究テーマですか。
210		Si, supongo que, sí, porque al principio de todo era el ユーモア [日本語で発話する] y también la 結束性 [日本語で発話する].	はい、おそらくそうだと思います、なぜなら先ず最初「ユーモア」で、そして「結束性」です。		
211					副題がそうでしたっけ。
212		Si, Entonces, supongo que este es el subtítulo. Subtítulo. Vale.	はい、そして、これが副題だと思います。副題。はい。		
213					では、先ずここ「[2.3結束性]を指す」をしてから次にこれ「[2.4ユーモア]を指す」をしましょう。
214		Vale.	はい。		
215	ハリデイ・ハサン(1997)の「結束性」については、3章の分析方法で詳しく述べる。	Vale, 結束性, ハリベイ, ハリベイ・ハサン [日本語で発話する]. Vale. Lo que no entiendo es porque a veces ponen el nombre así [「ハリベイ・ハサン」を指す] y luego a veces el nombre así [「Hatim & Mason」を指す].	はい、「けっせい、ハリベイ、ハリベイ・ハサン」は、わからないのは、時々名前をこのように「ハリベイ・ハサン」を指す]書きますが、時々はこのように「行番号180の「Hatim & Mason」を指す」と書くのはなぜでしょうか。		
216					はい、確かにそうですね。
217		Porque no es japonés.	日本人ではないからですか。		
218					スペルがわからないからでしょうかね [笑う]。わかりません。
219		Aquí [行番号250の「Kachroo」を指す] hay otro y aquí hay otro [行番号250の「Baker」を指す].	ここは [行番号250の「Kachroo」を指す] で、ほかのところは [行番号250の「Baker」を指す]。		
220					そうですね。普通はオリジナルの名前を書きますよね。
221		Si.	はい。		
222					でもここはカタカナにしています。
223		Mira, y Katori. Katori es un, y Katori es japonés y lo ponen en romaji.	見てください、Katoriはその、Katoriは日本人です、そしてローマ字で書かれています。		
224					書かれた本が英語ではないですか。
225		Ah, puede ser.	あ、そうかもしれません。		
226					わかりませんが。
227		Es raro que no.	変ですよね。		
228					この名前は聞いたことがありますか。
229		No, a mí este no. ハリベイ・ハサン [日本語で発話する].	いいえ、私はありません。「ハリベイ・ハサン」		
230					「ハサン」というと。
231		Árabe, ¿no? [Google. Es de「ハリベイ・ハサン」を調べる]. Uy. No sale, no existe.	アラブ人でしょうか。[Google. Es de「ハリベイ・ハサン」を調べる]		
232					ないですね。[笑う.]
233		ハリベイ・ハサン [日本語で発話する]. [Halidi Hassanローマ字に変えて調べる] Uy. Pues sale de todo. No saldrá. Bueno.	「ハリベイ・ハサン」, [Halidi Hassanローマ字に変えて調べる]あ、いろいろありますが、出ないでしょう。まー。		
234					ここには載っているわけですが、彼もスペルを知らないのかもしれない。
235		No.	はい。		
236					あり得ます。
237		ハリベイ・ハサン [日本語で発話する].	「ハリベイ・ハサン」		

268			はい、そうですね。[笑う。]			
269	p.74				まー、その差は説明されているようです。	
270			はい、そうですね？というのは「結実性はテキスト間にある」としてその「一貫性はテキスト間にある意味の」[日本語で発話する]Vale. Vale. [5秒間沈黙]			
271		様々な視点から結実性と翻訳に関する研究が行われているが、日本でも Katori (2006)が同じように研究を行っている。彼の新聞記事における日英語の結実性についての研究はとも興味深い。	Vale, entonces el luego dice, todas estas investigaciones se han hecho, bueno, esto son ejemplos, ¿no? De todas las investigaciones que se han hecho, desde diferentes puntos de vista. Pero, otra vez, pero, en japon, 同様に[日本語で発話する]。Bueno, pero, parece que diga que solo lo ha hecho Katori. Pero no no, Katori lo ha hecho, ha hecho investigaciones parecidas a estas de aqui.	はい、そうですね？これはあとで書いています。これは全部の研究は、行われていて、まー、これはその例ですね。これらの研究は、異なる視点から行われています。でも、もう一つでも日本で「同様に」まー、でも Katoriが行ったことだけのように思えます。でも、いや、いや、Katoriが行った、ここにある似た研究を行ったということです。		
272					でも、えーと、説明してもらえますか。	
273			はい。			
274					げっせいはうんぬん、この「[げっせいはテキスト間にある]」の文を指す]文について。	
275			はい。			
276					どうの意味ですか。どう理解しましたか。	
277			これは、えーと、そうですね、equivalenceはそれはその、これ[行番号262の「顕在」を指す]はなんだかわかりません。とても複雑そうに思えるし、それに抽象的なので、まー、スキップします。			
278			[オンライン辞書Jisho.orgで「顕在」を調べる。]はい、例のようなもので、Actual, obvious, clear, manifest[英語で発話する]。vale, Y esto[行番号262の「潜在」を指す]。ay, esto es[オンライン辞書Jisho.orgで「潜在」を調べる]。latente, vale, latente. Esto ya lo entiendo. Entonces, dice que la equivalencia, como que trata o tiene relación con el significado, como se diría, el significado, no obvio, sino el, el evidente del texto, y en cambio la cohesión tiene relación con la, con el significado, como, no es latente, pero, superficial no, sino el.	[オンライン辞書Jisho.orgで「顕在」を調べる。]はい、例のようなもので、Actual, obvious, clear, manifest[英語で発話する]というように意味が説明されています。はい、そしてこの[行番号262の「潜在」を指す]。あー、これは、[オンライン辞書Jisho.orgで「潜在」を調べる]。隠れた。そうか、わかりました。隠れたこと、これはわかります。そうすると「言っているのは、equivalenceは意味を扱うとか、意味と関係があつて、でも意味は明白ではないというのではなく、テキストに明らかに現われている。一方一貫性も意味と関係があるが、隠れていないとか、でも表面的で、そうではなく。		
279					反対ですか。	
280			Al contrario de superficial. No profundo, pero el significado, no es- no son las palabras, esto[行番号262の「顕在」を指す] sería como las palabras, un poco, y esto[行番号262の「潜在」を指す] ya es el significado del texto. No de las palabras, solo.	表面的の反対。深くはないが、でも意味は、言葉ではなく、これは[行番号262の「顕在」を指す]言葉のようなものかになります。が、よーと、これ[行番号262の「潜在」を指す]はテキストの意味ということです。言葉だけではありません。		
281					うーん。	
282			Es como la diferencia que hace este hombre, ¿no? Que cuando él habl, supongo que cuando él habla de 結実性[日本語で発話する]。es- se refiere a superficial, a directo, y en cambio, cuando habla de 一貫性[日本語で発話する]。	その差のようなものをこの人が言っています。そうですね？彼が言わんとするところは、おそらく、彼は言うときは、私の推測ですが、「結実性」で、意味することは表面的、直接的で、一方、「一貫性」と言うときは、		
283					逆のこと。	
284			Al contrario. Como, contrario.	反対。逆のようなことです。		
285					暗示的、明示的のようなもの。一つははっきりして、他方は潜んでいるというようなものでしょうか。	
286			Si, claro aquí como- en cambio la 結実性[日本語で発話する] es una parte, y en cambio aquí dice que no, que no es una parte. Aquí es una cosa, y el otro es la contraria. [5秒間沈黙] Y en cambio, y Katori, en cambio, dice [における] 研究は[日本語で発話する]。vale. Su investigación sobre esto, ¿también es interesante. [日本語で発話する]。Ah vale, es muy interesante. [笑う。]	はい、そうですね、ここに、その、一方「結実性」は一部で、一方で言っているのは、いや、一部ではありません。ここは一つのこと、もう一つは逆のことです。[5秒間沈黙]。代わりに、Katoriは、代わりに、「における」研究は「と言っています。はい、彼の研究は、何、「どうもよめふかか」です。あー、はい、それはとても興味深いということです。[笑う。]		
287			[6秒間沈黙] [聞き取り不能] Vale, entonces dice, vale, lo que dice este hombre [Katori]を指す] es muy interesante y ahora están haciendo.	[6秒間沈黙。] [聞き取り不能。]はい、そうですね、言っているのは、はい、この人 [Katori]を指す]が言っているのは、とても興味深く、今行っています。		
288					なんの研究が興味深いのですか。	
289			En la investigación sobre la, ya no sé como llamarlo ya [行番号287の「結実性」を指す]。La equivalencia [英語で発話する]。sería, ¿no? La equivalencia [英語で発話する] en la traducción de japonés inglés. Que sale, según, ah vale, no en el humor, sino en los artículos de periódico.	研究についてですが、なんと呼んだらいいのか「結実性」を指す]わかりません。その equivalence [英語で発話する]でしょうか？日本語英語の翻訳の equivalence [英語で発話する]です。書いてあることによると、あ、そうか、ユーモアにおいては、新聞の記事における研究についてです。		
290					あー。	
291			Y en cambio, dice, vale, este hombre ha hecho una cosa interesante sobre esto, que esto es lo que me interesa a mí. Pero en los artículos de periódico, y no en el humor. Y en cambio dice, en el humor, hay muy pocas investigaciones.	一方、言っているのは、はい、この人は非常に興味深いことを行って、これは私とても興味を覚えます。でも新聞の記事においては、ユーモアにおけるものはありません。その代わりに、ユーモアにおいては非常に少しの研究しかないと言っています。		
292					あー、はい、わかりました。要するにユーモアについてはまだ少しの研究しかないということです。	
293			Si, dice 結実性[日本語で発話する]。Vale, de la 結実性[日本語で発話する] hay mucho, pero dentro de esto, del humor, hay poco. Entonces dice, vale, pues a ver qué hay del humor, ¿no?	はい、「結実性」だと言っています。はい、「結実性」についてはたくさんありますが、その中でユーモアについては少しです。そうすると、はい、ユーモアについては、なにか研究があるのでしょうか。		
294					はい。えーと、一度切りですか。	
295			はい。			
296					あまり長くないように。	
297			Ay donde está. Aquí, [ウインドウズの録音のバーを探す]	あれ、どこですか、ここですね。[ウインドウズの録音のバーを探す。]		

319	ここで扱いたいのは、Raskin (1985)の SSTH と Attardo & Raskin (1991)の GTVH という二つの理論である。	ここで[日本語で発話する]、lo que va a utilizar él. Entiendo que esto es importante, pero lo que va a utilizar él, va a ser a Raskin y esto [SSTH]を指す]. SSTH, uy ¿esto qué es? No creo que salga en japonés, pero bueno, voy a buscarlo.[オンライン辞書 Jisho.orgで「SSTH」を調べる.] Uf.	「ここで、」彼がこれから使うのは、これが重要だということはおわかりです。でも彼が使うのは、Raskinと[「SSTH」を指す]、SSTH、えーと、これはなんですか、日本人が話しているとは思えませんが、でも、まー、調べてみます。[オンライン辞書Jisho.orgで「SSTH」を調べる。]		
320					うーん？ Ocean Arrow[笑う]。
321		A ver, qué es SSTH?	えーと、SSTHとはなんだろう？		
322					省略語でしょうか。
323		[Google. esで「SSTH」を調べる] ¿Estado?	[Google. esで「SSTH」を調べる]状態ですか。		
324					これはなんですか。
325		No creo, ¿no?	違いますよね？		
326					違うでしょう。
327		[Wikipediaで「SSTH」を調べるが、3つの選択説明がある] Ah, Aquí. [「3番目のオプション」を指す] Semantic Script Theory of humour. No sale, no existe, pero es esto. Vale, pero tiene sentido, porque sale humour.	[Wikipediaで「SSTH」を調べるが3つの選択説明がある。]あ、ここ[「3番目のオプション」を指す]です。Semantic Script Theory of humour, 説明は出ていませんが、これです。はい、理屈に合っています。と言うのはユーモアがありますから。		
328					あ、良かったですね。[笑う。]
329		Vale, ¿日本語で発話する] Attardo & Raskin の「日本語で発話する」 uuh.[行番号319の「GTVH」を指す][Wikipediaで「GTVH」を調べる] Bueno, no sale. Ah, pero bueno, mira [「2番目のオプション」説明 ユーモアの理論]を指す]. son teorías del humor. Ah, General Theory of Verbal Humor[英語で発話する].	はい、それ「Attardo & Raskin」の「うっふ」。[「GTVH」を指す。] [Wikipediaで「GTVH」を調べる。]「やっぱり、出ていません。あー、でもまー、見てください[「2番目のオプション」説明 ユーモアの理論]を指す]。これはユーモアの理論です。あ、General Theory of Verbal Humor[英語で発話する]とあります。		
330					あ、わかりました。
331		Vale. Entonces son, vale, dice que utilizará diferentes teorías del humor, 二つの理論 [日本語で発話する]. vale.	はい、そうすると、それらは、はい、ユーモアの異なる理論、「二つの理論」を使うと言っています。		
332	この2つを選んだのは、これらがユーモア研究に大きな影響を与えたからである。以下、北(2009)を参考にしてユーモア研究をまとめる。	このふたつを選んだのは[日本語で発話する]、vale. Ha escogido estas dos. [「これがユーモア研究に大きな影響を与えたからである」] Vale. Entonces, ha escogido estas dos porque con las, las teorías más, que más influencia han tenido en la investigación del humor. Vale. Vale, aquí debajo, きたは [日本語で発話する]. [「熟聞き取り不能」] Y que a continuación también resumirá un poco la del señor, きた [日本語で発話する]. que si la quieres saber más, pues que busques aquí [行番号305の「「優越の理論」解放の理論」を指す].	このふたつをのりろんを選んだのは、はい、この2つを選びました。[「これがユーモア研究に大きな影響を与えたからである。』はい、そうすると、この2つの理論を選んだのは、つまりこの2つの理論は、多くの影響をユーモア研究に与えたからです。はい、はい、この下に、「きたは」[「聞き取り不能」] 続けて同様に「きた」氏の研究を少しまとめていると思います。それでももっと知りたければ、ここ[「優越の理論」解放の理論]を指す]を読むように言っています。		
333					うーん。
334		Vale.	はい。		
335	Raskin (1985)の Semantic Script Theory of Humor (SSTH)はユーモア理論に言語学の知見を初めて応用したものであり、新しい試みであった。	Raskinの「日本語で発話する」semantic, vale. Ahora, Es lo que pone aquí arriba. [前文の「SSTH」を指す]	Raskinの「セマンティック」は、はい、今やっど。これ[前文の「SSTH」を指す]が上に書いてあるものです。		
336					今出てきましたね。
337		Ahora lo explica, pues nos lo pone primero y luego aquí.	今説明しています。つまり最初はこれを出しておいて、後からここで説明しています。		
338					普通は最初に略語ではないものを書いていくということですね。
339		Si. [笑う] Vale, pues esto es [日本語で発話する], esta teoría del humor, ユーモア[「けんごがく」[日本語で発話する]. [「聞き取り不能」]	はい。[笑う]はい、それで、この「は」の前は、このユーモアの理論です。「ユーモア[「けんごがく」] [「聞き取り不能」]		
340		Vale. Esta teoría es importante porque, es la primera teoría que, a ver, esto no, ちげん [日本語で発話する] es. Conocimiento, a ver [オンライン辞書Jisho.orgで「知見」を調べる。]ちげん [日本語で発話する]. conocimiento, vale. El conocimiento, de la de la lengua es [日本語で発話する]. esto [行番号335の「応用した」を指す] es utilizar, ものであり、あたらしい[日本語で発話する]. Vale, entonces, esta porque es la primera teoría, o prueba que se hizo utilizando el conocimiento que, si. Que es la primera, si que utilizan por primera vez el conocimiento del, del idioma, ¿no? Si.	はい、この理論は重要で、その理由は初めその理論であり、えーと、これ「ちげん」は、知識かな。えーと、[オンライン辞書Jisho.orgで「知見」を調べる。]「ちげん」、知識です。はい、その言語の、知識「を」、これ[行番号335の「応用した」を指す]は使うという意味で、「も」のことであり、あたらしい、はい、そうすると、これは最初の理論なので、あるいは、その知識を使って行った試みで、はい、初めてで、確かに言語の知識を始めて使った理論です。そうですか？はい。		
341					えー、「けんごがく」というのは。
342		げんごがく[日本語で発話する].	「げんごがく」		
343					がくがついています。
344		がく[日本語で発話する]. ¿filología? [オンライン辞書Jisho.orgで「げんごがく」を調べる。]	「がく」、言語学？ [オンライン辞書Jisho.orgで「げんごがく」を調べる。]		
345					はい。
346		Filología. Lingüística, vale. Filología o lingüística.	文献学、言語学、はい、わかりました。文献学が言語学です。		
347					もうすこし専門的に聞こえますね。
348		Si. La lingüística, vale. Que utilizó los conocimientos en lingüística para este tipo de tesis del humor.	はい、言語学、はい、このユーモアの理論に言語学の知識を使いました。		
349	これまでのユーモア研究は直観に頼っていたり、決定的な理論が欠如していたりしたが、不調和の理論に言語学という学問に裏付けされた「言葉」を導入したことが重要であった(北, 2009)。	Entonces, これまでのユーモアけんきゅうは [日本語で発話する]. [「聞き取り不能」] Uuh. A ver, dice que es nuevo porque hasta ahora las investigaciones del humor, ちよっかん[日本語で発話する] Directo, creo. Es directo, ¿no? [オンライン辞書Jisho.orgで「直観」を調べる。] Ah, intuición [「直感」を指す]. No, esto, かん [日本語で発話する], no es. A ver [再度「直観」を調べる]. Ay, qué raro.	そうすると、「これまでのユーモアけんきゅうは」[「聞き取り不能」]「うーん、えーと、ここで使っているのは、新しいという理由は今までユーモアの研究は、「ちよっかん」にたよって、ちよっかん？直接、だとも思いますが、直接です。ね？ [オンライン辞書Jisho.orgで「直観」を調べる。]「あー、直観」という意味です[「直感」を指す]。面白い、この「かん」ではありません。えーと、[再度「直観」を調べる。] あー、おかしいです。		
350					でも、このかんで意味説明があるので、ですね。[行番号349の「直観」を指す。]
351		Si, ¿no? Es el mismo.	はい、でしょう？同じことですか。		
352					まー、ここではそうしておきましょう。

420			Si, このようなあるひょうげんからあるスクリプトをそうきすること。[日本語で発話する]。[聞き取り不能] ¿eh?	はい、「このようなあるひょうげんからあるスクリプトをそうきすること。」[聞き取り不能] えっ?		
421	つまり、スクリプトから想起していることに「不調和」や「ズレ」がある場合にユーモアが起り得ると説明しているのだ。		つまり[日本語で発話する]。 a ver. El ejemplo lo he entendido, es en plan, bueno t ú dices, voy al restaurante, dentro de esa frase, está intrín, está implícito que has ido al restaurante, que has comido, bueno, que has pedido comida, que te la has comido y que la has pagado.	「つまり、えーと、例は理解できました。それは、まー、もしレストランに行くといえ、この文の中には、レストランに行って、食べたということが含まれている。まー、食事を注文して、それを食べて、支払ったということですよ。」		
422			Y luego que te has ido a tu casa. Vale. Entonces, Raskin, lo que dice con esta expresión. あてて[日本語で発話する]。 ah. あててはめる。 あててはめる。 あててはめる [日本語で発話する]。	そして家に帰った。はい、そうすると、ラスキンは、この説明に書いていて、「あてて」。 あっ、「あててはめる、あててはめる。あててはめる。」		
423			[オンライン辞書Jisho.orgで「atetehameru」を調べるが検索結果は出ない] Yepa. あててはめる[日本語で発話する]。 A ver, que es un verbo junto, ¿no? [オンライン辞書Jisho.orgで「当てはめる」を調べる] Ah. あてて[日本語で発話する]。 Ah, antes he puesto te[日本語で発話する]。 Vale. あててはめる[日本語で発話する]。 Apply[英語で発話する]。 ah vale. Apply[英語で発話する]。 vale.	[オンライン辞書Jisho.orgで「atetehameru」を調べるが検索結果は出ない]。 あれー。「あててはめる」。 えーと、複合動詞ですよな? [オンライン辞書Jisho.orgで「当てはめる」を調べる]。 あっ、「あてて、」前に私は「てて」と入力していました。 はい、「あてはめる」。 Apply[英語で発話する]すること。 あ、そうか、わかりました。 Apply[英語で発話する]する。 はい。		
424			Entonces, el señor Raskin aplica este concepto del que ha explicado con el restaurante. Lo que ha dicho que una frase tiene mucho significado implícito, lo aplica al humor.	そうすると、ラスキン氏はこのレストランの例で説明した概念を適用しました。彼が言ったのは、文には含まれていない意味が多く、それをユーモアに当てはめるといことです。		
425			Vale. Es decir, el スクリプトからしていること [日本語で発話する] [聞き取り不能]。 A ver, desde el script, esto [行番号421の「想起」を指す] supongo que es intuir, por el contexto, pero, por si acaso ya, porque.	はい、つまり、「スクリプトから、していること」 [聞き取り不能]。 えーと、スクリプトから、これ [行番号421の「想起」を指す]はおそらく推察することというでしょうか。 文脈から、でも一応念のため、なぜなら。		
426			[オンライン辞書Jisho.orgで「想起」を調べる] Vale. Recordar, していることに [日本語で発話する]。 la, eso [行番号421の「不調和」を指す] qué era? La discordancia, la incongruencia やズレ [日本語で発話する]。 ¿Qué esズレ [日本語で発話する]?	[オンライン辞書Jisho.orgで「想起」を調べる]。 はい、思い起こすこと、していることに。、その、これ [行番号421の「不調和」を指す]はなんでしたっけ? 不調和なこと、違和感のあること、「やズレ」、「ズレ」はどんな意味でしょうか。		
427						スペイン語でなんというのでしょうか。
428			ズレ [日本語で発話する] [オンライン辞書Jisho.orgで「ズレ」を調べる] ¿eh?	「ズレ」 [オンライン辞書Jisho.orgで「ズレ」を調べる]。 えっ?		
429						ずれる、ですか。
430			Ah, ¿es zulerのズレ [日本語で発話する]?	あ、これは「ずれるのズレ」ですか。		
431						名詞形ですね。スペイン語ではどういのでしょうか。例えば、いみがずれるは。
432			[5秒間沈黙] ¿Matiz no es? ¿Matiz? No.	[5秒間沈黙]。 ニュアンスではないですか。 ニュアンス、ですか。		
433						うーん。 ぴったりしないということですよ。
434			Ah, vale, Como.	あ、はい、そうか、その。		
435						ぴったりしないで、ちょっとずれる [聞き取り不能]。
436			Sí, que no encaja sino.	はい、ぴったり合わないで、その。		
437						はい、大体的意味はわかりますか。
438			Que no encaja.	ぴったりはまらないで、		
439						位置がずこし違ったりすること、 なんと云ったらいいのでしょうか。
440			Vale, sí. Sería esto [行番号421の「不調和」を指す]、 de hecho, ¿no? 不調和 [日本語で発話する]	はい、そうすると、これ [行番号421の「不調和」を指す] のようなことですか? 「不調和」		
441						ふちよわやズレがあるばあい、まー。
442			Como un poco, no es discordancia, como... no sé como es, pero no acaba de encajar totalmente. Vale, があるばあい [日本語で発話する]。 En el caso de que no acaba de encajar, ¿no? Este tipo de.	少しだけ、調和しないという様な、 なんと云った方がいいか、完全には当てはまらないと云うような、 はい、「があるばあい」 のような場合、 ぴったり合わない場合ですか? このタイプの。		
443						このスクリプト。
444			Este スクリプト [日本語で発話する]。 sí, ユーモアがおこり、 おこりえるとせつめいしているのだ [日本語で発話する]	この「スクリプト」、 はい、「ユーモアがおこり、 おこりえるとせつめいしているのだ」		
445	こうして、ユーモアを研究する方法が1つできたのである。		こうして [日本語で発話する]。 a ver, こうして ユーモアを [日本語で発話する]。 [聞き取り不能] ahora no lo entiendo. 「ユーモアがおこりえると」と、 a ver, おこりえる [日本語で発話する]。 [オンライン辞書Jisho.orgで「起こり得る」] Explica esto, el Raskin explica que cuando hay este tipo de... de discordancia, el humor, ocurre, este おこりえる [日本語で発話する]。 pero, ¿qué el humor ocurre?	「こうして、えーと、「こうしてユーモアを」、 [聞き取り不能] わからなくなりました。「ユーモアがおこりえると」、 えーと、「おこりえる」。 [オンライン辞書Jisho.orgで「起こり得る」]を調べる。 [これを説明している、ラスキンは説明している、 このタイプのものがあるとき、 不調和の、 ユーモアは起こる。「おこりえる」、 ても、 どんなユーモアが起きるのですか。」		
446						[笑う。] 起こりません。
447			El humor ocurre. Supongo que en este tipo de, a ver.	ユーモアが起こる。 おそらくこのタイプの、 えーと。		
448						うーん。 ユーモアは起こると言っていますか。
449			No.	違いますか。		
450						いつですか。
451			Ocurre cuando hay una, diferencia, no acaba de encajar con el スクリプト [日本語で発話する]。 El スクリプト [日本語で発話する]。 ¿qué es el スクリプト [日本語で発話する]? O sea, cuando lo que nos interesa es partir del スクリプト [日本語で発話する]。 del script [英語で発話する] este, cuando en esto que recuerdas hay una diferencia o algo que no acaba de encajar, eso es el humor.	違いがあるとき、 起きます。 その「スクリプト」に当てはまらないと、 その「スクリプト」、 この「スクリプト」とはなんですか、 つまり、「スクリプト」により想起されたことが、 この script [英語で発話する] の、 想起されたものにおいて、 ある差異があったり、 なにか当てはまらなかったりするとき、 それがユーモアであると云っています。		
452						うーん、 おこりうる。
453			おこり [日本語で発話する]。	「おこり」。		
454						うる、 おこりえる。

455		うる[日本語で発話する]?	「うる」?		
456					おこりえる。
457		Es suceder.	起こること。		
458					起こること。
459		Puede suceder, ¿no? No sucede, pero puede.	起こる可能性がある。ですか? 起こらない、でも可能性がある。		
460					可能性がある。
461		Puede suceder. Vale.	起こりえる。はい。		
462					挑発するような、でしょうか。
463		Si, ¿no? える。うる[日本語で発話する]。Es える[日本語で発話する]。うる[日本語で発話する]。Esto no es える[日本語で発話する]?	はい、そうですね? 「える、うる」。「える」あるいは「うる」? これは「える」ではありませんか。		
464					おこりうる、おこりえる、二つの読み方があります。
465		Ah, vale. Vale, pues supongo que, esto es la teoría del humor como es el humor semántico del script semántico, pues supongo que dice, ¿cuando sale el humor? Pues el humor semántico puede suceder cuando hay este tipo de incongruencia en, en el script. Bueno.	あー、わかりました。はい。そうすると、このユーモアの理論はセマンティックスクリプトのセマンティックユーモアで、おそらく言っているのは、いつユーモアが発生するか、ということです。それで、セマンティックユーモアはこのタイプの不調和がスクリプトにおいてある時、起こるということです。		
466					はい、そうですね。
467		Vale. [笑う]	はい。[笑う。]		
468					そう言っています。
469	Asimakoulas (2004)はこの理論を分析に應用しており、そのようにしてユーモア翻訳について論じている研究もある。	Y Asimakoulas dice このりろんはぶんせきにおうようしており[日本語で発話する]。Vale, このりろん[日本語で発話する]supongo que es este りろん[日本語で発話する]de aquí.[章の始めの「SSTH」を指す]。	アシマコウラスは次のように言っています。「このりろんはぶんせきにおうようしており」、はい。「このりろん」、おそらく、ここでのこの「りろん」[章の始めの「SSTH」を指す]のことだと思えます。		
470					これはもう一人別の人ですね。
471		Si.	はい。		
472					うーん。
473		Si, este es Raskin, mas luego supongo que utilizó este, este りろん[日本語で発話する]。そのようにしてユーモアほんやくについてしているけんきゅうもある[日本語で発話する]。Ah, vale. Entonces, que hay investigaciones- bueno no, sí, investigaciones sobre la traducción del humor teniendo en cuenta que el humor es esto. Vale, muy bien.	はい、これはラスキンで、もっと後で、おそらくこの「このりろん」を使ったんだと思います。そして、「そのようにしてユーモアほんやくについて、しているけんきゅうもある」。あー、はい。そうすると、研究があつて、まー、はい。ユーモア翻訳に関するもので、ユーモアとはこういうことだという考えを持った翻訳の研究です。はい、いいと思います。		
474					うーん。
475		Fantástico [笑う]	素晴らしい。[笑う。]		
476					これは長すぎますか。
477		A ver. [PDF資料のページを見る]	そうですね。「PDF資料のページを見る。」		
478	しかし、ラスキンの SSTH には批判も多く、完全なものとは言えない。	De acuerdo. De acuerdo, a ver. Entonces, ahora el siguiente trozo empieza con [日本語で発話する], que es un sin embargo a todo lo que ha dicho antes. Sería Raskin's [日本語で発話する] la teoría del humor. [日本語もおおく[日本語で発話する]。Vale, también lo han criticado y canseñanものはいえぬ[日本語で発話する]。Vale, entonces dice que antes han dicho que esta teoría era muy útil y que era muy nueva y que era muy importante. Pero la han criticado también muchas veces y no es una teoría que está, que se puede decir que es completa.	はい、わかりました。わかりました。えーと。そうすると、次の部分は「しかし」で始まりますが、全く別な言っただけのことです。つまりラスキンのユーモアの理論をひらき、「ひはんもおおく」とはいえない。はい、つまり前にも言われましたが、この理論は非常に使用価値があり、新しく重要であると言っています。しかし向ても批判され、完全な理論であるとは言いがたい理論でもあるということです。		
479	例えば、分析した例がジョークのみであったことや、根幹であるスクリプト対立が一般化・抽象化され過ぎているという点が批判されている(北, 2009)。	Entonces, por ejemplo, ぶんせきしたたとえジョークの、のみ、ジョークのみであったことや、であるスクリプト、いっばんか[日本語で発話する]。[聞き取り不能]	そうすると、たとえば「ぶんせきしたたとえジョークの、のみ、ジョークのみであったことや、であるスクリプト、いっばんか」。[聞き取り不能]		
480					あー、難しそうですね。
481		Vale, entonces. Ah, entonces aquí dice por ejemplo una de las cosas que se le critica es que ジョークのみであったことや[日本語で発話する], eso es una, cuando hay una broma y esto a ver[「根幹」を指す]。	はい、そうすると、あー、ここで言っているのは、たとえば批判されたことの一つは「ジョークのみであったことや」、これは一つのジョークがある時は、えーと、これ「根幹」を指すは。		
482		[オンライン辞書 Jisho.org で「こんかん」を調べる] Y, vale. Las bases, sería, ことや[日本語で発話する], las bases [あるスクリプト]。Abstracto. Vale. Vale, entonces dice que la cuando habla de la, solo habla de este, de las ジョーク[日本語で発話する]。	[オンライン辞書 Jisho.org で「こんかん」を調べる。]そして、はい、土台のこと。そうすると、「ことや」、土台「あるスクリプト」、これ「一般化」を指すは「いっばんか」で、一般化ということ。そしてこれ[行番号479]「抽象化」を指すは、なんだろう、なぜならこれはちよつと違ひますね。		
483		それ[日本語で発話する], vale, されすぎで[日本語で発話する], que hace esto demasiado, pero qué es. Que generaliza [オンライン辞書 Jisho.org で「抽象」を調べる]。Abstracto. Vale. Vale, entonces dice que la cuando habla de la, solo habla de este, de las ジョーク[日本語で発話する]。	「それ」、はい、「されすぎで」、なにかをされ過ぎて、でもなにをだろ? なにを一般化? [オンライン辞書 Jisho.org で「抽象」を調べる。]「抽象」ということ。はい、はい、そうすると、言っているのは、話すときはこのこと、このことだけについて話す、「ジョーク」の話しだけ。		
484		Que no habla del humor en general, solo de las bromas y que además el, las bases del script, del concepto que usa él, son o muy generales o muy abstractas. Y que lo hace muchísimo.	一般的にユーモアのことを話さないが、ジョークだけ、その上、その、彼が使う概念のスクリプトの土台は非常に一般的、あるいは抽象的であるということです。そして多くなされているということです。		
485		Entonces que le critican que es o muy abstracto o muy general a veces y que no habla de todo el humor, sino solo de las bromas, y eso es lo que le critican otros autores.	そうすると、批判されているのは非常に抽象的、時々一般的でユーモアについては話さないで、ジョークのみに留まり、それがほかの著者から批判されている点であるということです。		
486					うーん。
487	そこで現れたのが Attardo & Raskin (1991)の General Theory of Verbal Humor (GTVH)である。	そこであらわれたのが[日本語で発話する] entonces, en ese momento, apareció otra persona. Attardo & Raskin, apareció la, otro tipo de tesis.	「そこであらわれたのが」、それで、このとき現れたほかの人がいます。アタードとラスキン、現れたのは、ほかの理論です。		

488		Antes estaba la del "script" y ahora, pues supongo que para solucionar estas [行番号479]「批判」を指す, eeeh. [聞き取り不能] pues apareció la General Theory of Verbal Humor.	前はスクリプトのことでしたが、今は、その推測ですが、これ[行番号479]「批判」を指すを解決するためのたと思います。えー。[聞き取り不能]つまり、このGeneral Theory of Verbal Humorの理論が現れました。		
489	GTVH では SSTH の根幹であったスクリプト対立を維持しながら、6つの変数を規定している。GTVH を図で表したものを Attardo (2002) から引用する。Hierarchical organization of the Knowledge Resources (Attardo, 2002, p. 183)	Enotnces, esta teoría [「GTVH」を指す] y esta teoría [「SSTH」を指す], las bases de estas teorías [「SSTH」を指す] y se crearon [日本語で発話する] へんすうの。	そうすると、この理論[「GTVH」を指す]とこの理論[「SSTH」を指す]、これらの理論の土台[「SSTH」を指す]、はい、つまり、この2つの理論を使いながら、そして作られた「へんすう」の。		
490		A ver [4秒間沈黙] Se elaboraron seis [オンライン辞書 Jisho.org で「変数」を調べる] variables. Se elaboraron seis variables o se marcaron, ¿no? seis variables y que las marcará ahora en el, en este cuadro.	えーと、[4秒間沈黙] 作られた、6つの、[オンライン辞書 Jisho.org で「変数」を調べる] 変数ということ。6つの変数が作られた。あるいはマークされた、違いますか？ 6つの変数、そして今それらが、この図に、マークされています。		
491		Entonces, las seis variables son estas [「図」を指す], que no solo laジョーク [日本語で発話する], sino que son estas seis de aquí.	それで、これらの6つの変数はこれら[「図」を指す]で、ジョークだけでなく、ここに示されたこれらの6つです。		
492		Script Opposition, Logical Mechanism, Situation, Target [英語で発話する]。	Script Opposition, Logical Mechanism, Situation, Target [英語で発話する]。		
493					これら[「図表の矢印」を指す]の矢印は理解できますか。これらが変数ですね。
494		Si, ¿no? En teoría si son variables debería ser esta [「Script Opposition」を指す] o esta [「Logical Mechanism」を指す], pero, no en orden, ¿no?	はい、そうですね？理論的にはこれらが変数で、これ[「Script Opposition」を指す]のほうが、あるいはこれ[「Logical Mechanism」を指す]とか、でも順番になっていませんね。		
495		O sea no es que el script [英語で発話する], no es que el Narrativ Strategy [英語で発話する] pase al Language [英語で発話する], ¿o sí?	つまり、script [英語で発話する]ではなく、Narrativ Strategy [英語で発話する]ではなく、Language [英語で発話する]に移行します、違いますか。		
496					順番ではありませんね。でももしかしたらすでに含まれているのかも知れません。これらの矢印が良くわかりませんが。
497		Si, a ver. Parece que sí, que sea primero esta [「Script Opposition」を指す] y luego esta [「Language」を指す], pero.	はい、えーと。そうみたいです。1番目が[「Script Opposition」を指す]で、その次がこれ[「Language」を指す]、でも。		
498					スクリプトは、スクリプトから始まって、次が[「Logical Mechanism」を指す]と続く。
499		Supongo que sí, porque por lógica tiene que ir, te enfrentas primero al "Script", luego pues lo razones con lógica, y entonces este "Script" lo adaptas tanto a la situación, que es el, que era como el, el [聞き取り不能]	たぶんそうだと思います。なぜなら理屈からいえばそうなります。初めはスクリプトに対して、次にロジックで理由づける。そしてこのスクリプトは、状況や、えーとなんだっけな、その、その[聞き取り不能]に適用します。		
500		Al objetivo y a la situación, ¿no? Aquí, supongo que aquí [「Situation」を指す] es lo más [日本語で発話する], O sea, si es subtitulo o débil, y esto [「Narrative Strategy」を指す] es luego ya como, te enfrentas, como traduces y entonces sí que al traducir utilizas el idioma. No sé.	目的と状況に、でしたよね？ここに、もしかしたらここ[「Situation」を指す]は「じまじくで、つまり、もしかしたら字幕とか吹き替えで、そして、これ[「Narrative Strategy」を指す]は、あとで、それに向かいかって、翻訳するとか、そして翻訳する時、言語を使うということではないかと思います。		
501					ありえますね。
502		Si, ¿no? Porque es. Si es una organización que parece que vaya en este orden.	はい、そうですね？なぜなら、それは、もしある組織ならこの順番でいくようにも思えます。		
503	この図は上から重要度の高い変数となっている。	このずはうえから [日本語で発話する] Vale, sí, no está [日本語で発話する]. O sea, que, ese [「Script Opposition」を指す] es el más importante, y este [「Language」を指す] es el menos importante.	「このずはうえから」、はい、もし、「なっている」、つまり、これ[「Script Opposition」を指す]は最も重要で、これ[「Language」を指す]はそれほど重要ではないということだと思います。		
504					うーん。
505	SSTH の根幹であるスクリプト対立が最も重要な位置を占めているため、GTVH と SSTH の関係が分かるだろう。	であるスクリプトたいりつ、もつともじゆうような、めているため、かんけいかわかるだろう [日本語で発話する]。Buff.	「であるスクリプトたいりつ、もつともじゆうような、めているため、かんけいかわかるだろう」ぶっふ。		
506					スクリプト対立。
507	この6つの変数を簡単に説明すると、Script Opposition は「ユーモアの核となるスクリプト対立」、Logical Mechanism は「ユーモアを導く(庇)理屈」、Situation は「テキストに描かれている内容・状況」、Target は「ユーモアの標的となる対象」、Narrative Strategy は「テキスト全体を組み立てている構造」、Language は「テキストの表面的な言葉遣いそのもの」である(北, 2009, p. 109)。	A ver. Supongo que aquí dice que lo va a explicar sencillamente, de forma sencilla. Script Opposition [英語で発話する] es ユーモアと [日本語で発話する]. Ah, kak [日本語で発話する] [「オンライン辞書 Jisho.org で「かく」を調べる」] kak [日本語で発話する] ver. Ah, vale. Núcleo. Ay el kak [日本語で発話する] de nuclear.	えーと、推測ですが、ここで言っているのは簡単に説明するというので、簡単な形です。「Script Opposition」は「ユーモア」だ。あ、「かく」[「オンライン辞書 Jisho.org で「かく」を調べる」]「かく」、えーと。あ、そうか、核のこと。あ、これは核の「かく」です。		
508		Vale. Entonces, el núcleo del humor [「庇」を指す] y esto [「Logical Mechanism」を指す] y esto [「Situation」を指す] mirá [日本語で発話する], pero.	はい、そうすると、ユーモアの核[「庇」を指す]と「理屈」[「Logical Mechanism」を指す]、はい、[聞き取り不能]で読み続ける。]として、これは「庇」を指す「みちびく」でも。		
509					ひ？
510		ひ？ [日本語で発話する]	「ひ」？		
511					なぜこれは、なぜここに出てくるのでしょうか？
512		¿Es un. No es un autor, no? [「オンライン辞書 Jisho.org で「庇」を調べる」] [4秒間沈黙] [笑う] ¿Eh?	これは、著者ですか？ [「オンライン辞書 Jisho.org で「庇」を調べる」] [4秒間沈黙。] [笑う。] えっ？		
513					なぜここに出てくるのかわかりませんが。
514		Ah. Pero está aquí, mira.	あ、でも、ここにありますが、見てください。		
515					えっ？
516		Está este y este [「庇」を指す]. Entonces, ¿eh? ¿Y esto [「理屈の漢字語」を指す] solo, tiene? [「オンライン辞書 Jisho.org で「理屈」を調べる」] Porque puede ser este [「資料の庇」を指す] o este [「理屈」を指す]	これです、これ[「庇」を指す]、そうすると、えっ？これ[「理屈の漢字語」を指す]にあるのは、これだけですか？ [「オンライン辞書 Jisho.org で「理屈」を調べる」] 理屈のこと。これは理屈の意味のようですが、でもこれ[「資料の庇」を指す]は、これ[「庇」を指す]でもありえるし、あるいはこれ[「理屈」を指す]でもありえるということ。		
517					あ、はい、はい、はい、括弧の中だけを考えていました。庇？ [笑う。] でもそうではなくて、今わかりました。これはへりっつです。はい。 [笑う。]
518		Este hombre escribe muy raro. Entonces, la situación, que es el texto [「日本語で発話する」] la [「日本語で発話する」] Target [「英語で発話する」] que [「日本語で発話する」] vale. Narrative Strategy [「英語で発話する」] ぜんたいをくみだしている [「日本語で発話する」] vale. Y el Language [「英語で発話する」], que es el, vale. Si, vale. Esto lo he entendido.	この人の書き方はちよつとおかしいです。そうすると、状況、とは「テキストに描かれているよう」[「日本語で発話する」]とその「じょうきょう」です。Target [「英語で発話する」]は「ひょうてき」のこと。はい、わかりました。Narrative Strategy [「英語で発話する」]は「ぜんたい」をくみだしている、はい、そしてLanguage [「英語で発話する」]はその言葉、はい、そうです、わかりました。これは理解できました。		

519	これらの変数を組み合わせながら用いることで、ユーモアを分析するのだ。	Vale, entonces, これらのへんすうをくみあわせながら「日本語で発話する」, combinando estos seis, estas seis variables, y utilizándolas, se puede analizar el humor.	はい、そうすると、「これらのへんすうをくみあわせながら」、これらの6つの、6つの変数を組み合わせながら使って、ユーモアを分析することができるということです。		
520				うーん。	
521		Vale, supongo que es como unas estrategias para, como una guía para analizar el humor. A ver.	はい、おそらくこれは戦略と言えるもので、ユーモアを分析するためのガイドのようなものと考えられます。		
522	しかし、GTVH に対する批判もいくつかある。	しかし「日本語で発話する」, pero. Vale. Pero a pesar de que esto es más completo, de que esta teoría es más completa y explica más cosas, también la critican.	「しかし」、でも、はい、たとえ、これが完全なものでも、この理論がより完全に、もっと色々なケースを説明しても、同様に批判されます。		
523	例えば、この理論は不調和の理論に基づいているが、ユーモアは楽しく面白いものであるため「不調和」ではないとするもの (Latta, 1999) や、用語の定義の甘さを否定したもの (Ritchie, 2004) などである。ここでは、中でも Simpson (2003) の批判に注目したい。	Por ejemplo, dicen que esta tesis, aunque se basa en la tesis de la incongruencia, que era el «No» [日本語で発話する] de antes, «ユーモアはたのしくおもしろいものであるためではないとするもの」[日本語で発話する]。[聞き取り不能] Vale, a ver. [4秒間沈黙] Eso [「定義を指す」] es «ていぎ」[日本語で発話する]。¿Qué era teí? [日本語で発話する] Oreo que lo he buscado antes. [オンライン辞書 Jisho.org で「定義」を調べる。] Definición. [「定義」を調べる。] Definición. [「定義」を調べる。] Vale. Esto es una crítica. La crítica, ¿qué es? O sea, aunque se basa en esta teoría y eso está bien, para que el humor sea divertido, ¿no? interesante, esta incongruencia, 「ではないとするもの、ではないとするではないとする」。O sea, hace esto y esto, o sea 「ではないとする」 es como que hace que no exista esta incongruencia. Y la definición del lenguaje de un «esto」 [日本語で発話する] es lenguaje de uso, lenguaje corriente?	たとえば、この理論は、たとえ違和感の理論に基礎をおいているとしても、前の「ズレ」でしたっけ。「ユーモアはたのしくおもしろいものであるためではないとするもの」、[聞き取り不能]「はい、えーと、[4秒間沈黙。]これ、「定義」を指す」は「ていぎ」ですが、なんでも「ていぎ」って「なんでも聞き取り調べ」に思いますが。[オンライン辞書 Jisho.org で「定義」を調べる。]定義のこと、あ、はい、定義です。「ものである」、はい、これはある批判です。批判、なんだろうかとつまずき、たとえこの理論に基づいているとしても、それはいいと思いますが、ユーモアは面白いものであって、ですよね? 「ではないとするもの、ではないとする、ではないとする」。つまり、これとこれを、つまり、「ではないとする」はこの不調和が存在しないようにするということではないかと、そしてこの言語の定義は、これ「用語」は使用の言語、一般的な言葉という意味ですか。		
524				うーん。	
525		Si, lenguaje corriente. ¿O sea, no que se define? [日本語で発話する] ¿Negar? Y que niega la definición-- no, la, amasa? [日本語で発話する] Aquí tiene que ser-- eso-- esto es abstracto. No es amasa [日本語で発話する] de amasa [日本語で発話する], sino de. A ver qué puede ser. O sea, no que se define, sino que. [オンライン辞書 Jisho.org で「amasa」を調べる。] es, uepa, amasa [日本語で発話する], ¿no? あまい [日本語で発話する] [オンライン辞書 Jisho.org で「あまい」を調べて検索結果の最初のオプションを読む。] Optimista. A ver, o esto quizás, [5番目のオプション、中途半端、きちんと仕上げられていないを読む。]	はい、そうですね、一般的な言葉です。「のあまさ」? 「ひてい」は否定ですか? それは定義を否定する、ですよね? 「あまさ」? これは、これは、これは抽象的ですね。「あまさ」の「あまさ」ではないですよね、そうですね、えーと、なんだろうかとつまずき、甘くないもの、そうではなくて、[オンライン辞書 Jisho.org で「amasa」を調べる。]それは、うーん、「あまさ」ですよね? 「あまい」[オンライン辞書 Jisho.org で「あまい」を調べて検索結果の最初のオプションを読む。]楽楽家、えーと、ひよっとしたらこれかな。[5番目のオプション、中途半端、きちんと仕上げられていないを読む。]		
526				Optimistic, この説明は。	
527		pose, insufficient. Entonces como que niega la definición, que no es una definición fija, sino que es una definición un poco, así, hecha más o menos. ¿no? En plan.	ゆるい、不十分という意味があります。そうすると、定義を否定するので、固定的な定義ではなく、その定義は少し、その、大体というような、ですか、言い方として。		
528				曖昧でしょうか。	
529		Si, Más que amai [日本語で発話する], sería amai [日本語で発話する], ¿no? ていぎのあまい [日本語で発話する]?	はい、「あまい」というより、たぶん「あまい」だと思いますね? 「ていぎのあまい」?		
530				まー、この場合「聞き取り不能」。	
531		[Weblio, jp で「amasa」を調べる]	[Weblio, jp で「amasa」を調べる。]		
532				あまいの漢字は覚えてますか。	
533		No, a ver. [オンライン辞書 Jisho.org で「aimai」を調べる] ¡Ah, Uf. Vale. Pero sí, ¿no? En este caso sería más.	いいえ、えーと。[オンライン辞書 Jisho.org で「aimai」を調べる。]あ、うっふ、そうか、はい、でも、そうですね。この場合、そうするとつと。		
534				そうですね。	
535		Porque si es una definición, una definición puede ser un poco, en plan, dulce, en plan de que no es estricta y esta es una de las cosas que les critican. Aquí es cómo [日本語で発話する] Simpsons, una persona.	なぜなら、もし一つの定義なら、定義としてはちょっと、というか、あまいというのはあまり厳格ではないということ、それで批判の一つになるということですね。「ここではなかでもSimpsons」、もう一人の人です。		
536				えーと、このところわかりましたか。例えば、この理論は不調和の理論に基づいているが、ここでは大丈夫ですか。	
537		Si, a ver.	はい、えーと。		
538				では、これは? ユーモアは楽しく面白いものであるため、これはわかりますね。	
539		Si, ¿no? Para que el Bueno, el [日本語で発話する], como no sea un [日本語で発話する]	はい、そうですね? そのために、まー、この「ため」は「ために」ではないですね。		
540				うーん。かな[笑う]まー、がはここのほんたいでしょ?	
541		Si, lo contrario. Es que incongruencia, pero aquí el humor, claro, es que si no es un [日本語で発話する]	はい、逆のものを意味します。不調和ですが、でもここはユーモアです、そうか、でも、もし「ため」でなければ。		
542				ないとしたものとか、ひていたものとか、こういうのは、大体の意味はわかると思いますがどうでしょう。	
543		El [日本語で発話する], Es como poner un [日本語で発話する], ¿no? Porque esto [行番号523の「とするもの」を指す] y esto [「したものを指す」], [日本語で発話する].	その「もの」。これは「や」のような感じですよね? なぜならこれ「とするもの」を指す、そして「したものを指す」。「である」。		
544				うーん。	
545		O sea, una cosa es esto de aquí [行番号523の「用語の定義の甘さを否定したもの」を指す], que niega la definición ambigua de la lengua de uso y que, que no hace, o que no tiene. Es que, el [日本語で発話する], no es un [日本語で発話する].	つまり、1つはこれ[行番号523の「用語の定義の甘さを否定したもの」を指す]で、意味は、その、使用の言語の曖昧な定義を否定する、そしてしないとか持たないとか、この「ないとする」、「ないとする、ではない」は。		
546				ないとする、ではない、ないとする。	
547		Es que aquí me lía el [日本語で発話する] y el [日本語で発話する]	ここの「ため」とこの「とする」で、わからなくなっています。		
548				とするものやしたものである、するもの、したものの、これは名詞の形ですね。	

549		Si.	はい。		
550				えー、とする、これが良くわからないですね。	
551		No.	はい。		
552				おもしろいものであるために、ふちようわではないもの、あいまいさをひいてしたもの、このりちんはふちようわのりちんにもとついているが、とあります。のものである、という考えが三つありますね。ええ？理論に反する意味で。	
553		O sea, al contrario de esto.	つまり、この理論の逆。		
554				この理論の。	
555		Si. Esta もの【日本語で発話する】.	はい、この「もの」は。		
556				この3つはなににたいして反対のことをいっているのですか。	
557		¿Tres? Pero son. Una もの【日本語で発話する】. dos もの【日本語で発話する】.	3つ？でも、「もの」1つ、「もの」2つですけど。		
558				ものは2つ。[笑う。]	
559		¿Hay dos, no?	2つですよ？		
560				3つありませんか。	
561		¿Tres?	3つですか。		
562				そして、このためにも問題でしたっけ？	
563		Si. El ため【日本語で発話する】 y el ないとする【日本語で発話する】. Porque el ため【日本語で発話する】. si no es un ために【日本語で発話する】. Hay más ため【日本語で発話する】. pero no sé cuáles.	はい、この「ため」どないとする？です。なぜなら、この「ため」が「ために」でないとするなら、まだほかにも「ため」ってあるのですか、でも私は知りません。		
564				ためにでは当てはまりませんか。	
565		No, no encaja.	当てはまりません。		
566				ためとためにの違いを調べてみてはどうですか。	
567		[Weblio.jpで「ため」を調べる。][検索結果を読む間沈黙。][オンライン辞書Jisho.orgで「tame」を調べる。]ため【日本語で発話する】[結果を読む間5秒間沈黙。]	[Weblio.jpで「ため」を調べる。][検索結果を読む間沈黙。][オンライン辞書Jisho.orgで「tame」を調べる。]「ため」【検索結果を読む間5秒間沈黙。]		
568				色々な意味がありますね。	
569		Si, aquí [「検索して出た初めのオプション」を指す] está el ために【日本語で発話する】 y aquí [「最初の検索結果「為」を指す】 está el ため【日本語で発話する】. "Good" Este [「最初の検索結果の2番目のオプション」を指す] no, porque este sería ほくのために【日本語で発話する】	はい、ここ「検索して出た初めのオプション」を指す】に、この「ために」があります。そしてここ「最初の検索結果「為」を指す】に「ため」があります。「Good」、これ「最初の検索結果の2番目のオプション」を指す】は違います。なぜなら「ほくののために」だからです。		
570				このためではありませんね。	
571		[4秒間沈黙]Hm.	[4秒間沈黙]うーん。		
572				これ【「3番目のオプション」を指す】はどうですか。	
573		Si, porque それは おまえのこえをよくきくためだよ【日本語で発話する】	はい、なぜなら「それは、おまえのこえをよくきくためだよ」ですから。		
574				でも、これは。	
575		Claro, porque este y este [「最初の検索の「1」と「3」のオプションを指す】. es como un ために【日本語で発話する】. porque son のこえをきくために【日本語で発話する】. Y este [「最初の検索の「2番目のオプション」を指す】. I'm taking bereavement leave on Jan【英語で発話する】. [聞き取り不能。][7秒間沈黙。]	そうです。なぜなら、これとこれ【最初の検索の「1」と「3」のオプションを指す】は「ために」のようです。なぜなら「こえをきくために」と音るからです。そしてこれ【最初の検索の「2番目のオプション」を指す】. I'm taking bereavement leave on Jan【英語で発話する】. [聞き取り不能。][7秒間沈黙。]		
576				あー、そうですか。	
577		Pero es un poco ために【日本語で発話する】. ¿no? Porque.	でも、ちょっと「ために」と同じですよ？というの、		
578				はい、【1秒間沈黙】でもこれは目的のため、ためにですよ？	
579		No, porque entonces si que sería un ために【日本語で発話する】. y no era ために【日本語で発話する】. Hm.	いいえ、なぜならそうすると、それこそ「ために」になります。それに「ために」ではありませんでした。うーん。		
580				ための説明を読んでなにか発話するが【聞き取り不能】。	
581		[eiji.weblio.jpのページに戻る]No, aquí no, no es lo que pone.	[eiji.weblio.jpのページに戻る]. いいえ、ここには、ここに出ているのはそれとは違います。		
582				前のページはなにが書いてありましたか。	
583		[オンライン辞書Jisho.orgに戻る。]	[オンライン辞書Jisho.orgに戻る。]		
584				このための？	
585		Si.	はい。		
586				えーと。	
587		Cambiar. [10秒間沈黙]	変えること。[10秒間沈黙。]		
588				ここにあるので全部ですよ。	
589		Si, a ver, details [英語で発話する] [detailsの漢字の「為」をクリックする]. Si, no hay más. [10秒間沈黙]	はい、えーと、details [英語で発話する] [detailsの漢字の「為」をクリックする]. はい、もうほかにはありません。[10秒間沈黙。]		
590				【聞き取り不能】	
591		Si. [8秒間沈黙] A ver, が【日本語で発話する】 Vale. ユーモアはたのしくおもしろいものであるため【日本語で発話する】. [20秒間沈黙]	はい、【8秒間沈黙】えーと、「が」。はい。「ユーモアはたのしくおもしろいものであるため」。[20秒間沈黙。]		
592				【聞き取り不能】	

593		Esta me cuesta sobretodo por. Esta frase, a 「. Esto porque tiene el para [日本語で発話する] y el [日本語で発話する]」	これは私にとっては理解しにくいですが、とくにこの文は、この文に、この「ため」とこの「ではないとする」があるからです。		
594				では、このものはなにを代行していますか。なんの言葉に置き換えられますか。	
595		Para mí, [日本語で発話する] sería el [日本語で発話する], pero, no sé si es [日本語で発話する]	私には「もの」は「こと」ではないかと思いますが、でも「こと」がどうかはわかりません。		
596				ふちようわではないとするもの。うーん、この「もの」はなにかの代わりなのですが。	
597		Si.	はい。		
598				ようごていぎのあまさをひいていたもの[5秒間沈黙]。今までなにについて話してきましたか。これは「ふちようわ」で、これはスレのスクリーンショットでしたよね。	
599		Si.	はい。		
600				ズレや不調和はなにと関係がありますか。	
601		Con la, era.	それは、その。		
602				起こりえること。	
603		Del humor, ¿no?	ユーモアのこと、ですか。		
604				そうですね。	
605		Si.	はい。		
606				そうするとこの「もの」は？	
607		No, es que es el.	いや、それはその。		
608				すこしわかりにくい文ですが。	
609		Como no esté. Como no sea el ユーモア [日本語で発話する].	ではないとすると、「ユーモア」ではないなら。		
610				はい。そうかもしれません。代わりにならないと。	
611		O sea, que. Claro, entonces sería, el humor que no tiene ふうちようわ [日本語で発話する] y el humor que no tiene una definición clara de.	つまり、それは、そうか、そうするとこうなるのかな。「ふうちようわ」のないユーモア、そして明確な定義を持たないユーモア。		
612				言い切れますか。そうですね。	
613		Si.	はい。		
614				前に話していることと一致しますか。	
615		Si.	はい。		
616				ではこの文、ユーモアはたのしくおもしろいものであるため、前に話していた。ためにはありませんね。	
617		No.	いいえ。		
618				どんな意味になるでしょう。	
619		A ver, [日本語で発話する], pero [日本語で発話する] sería.	えーと、「ので」、でも「ので」だと。		
620				そうですね。	
621		[日本語で発話する] [聞き取り不能]	[「ので」] [聞き取り不能。]		
622				この「が」があるのはどうしてですか。	
623		Si, o sea, no.	はい、それはつまり、否定。		
624				これは、ちょっと複雑ですね。	
625		O sea, no, porque si no es [日本語で発話する], ¿[日本語で発話する] puede ser?	つまり、「ので」でなければ、「けど」ですか。		
626				そうとも言えるかもしれませんが。	
627		Quizá con [日本語で発話する], en plan, aunque el humor sea tal, puedes, también es un humor que no tiene ふうちようわ [日本語で発話する] y un humor que no tiene, tal. Entonces quizás sí, por sentido, sí que tiene más sentido el [日本語で発話する]	たぶん、「けど」で行けるとは思いますが、やってみると、たとえユーモアがなにかで、同様にユーモアが「ふうちようわ」がなく、そしてユーモアがなにかがなく、そうすると、もしかしたら、意味からすれば、この「が」があることの理屈が通ります。		
628				そうですね。そうですね。全体ではどうなりますか。	
629		Sería, lo que le han criticado es que, por ejemplo, aunque se basa en la ふうちようわ [日本語で発話する], en la tesis de la ふうちようわ [日本語で発話する]. Aunque se basa en esto es un humor que aunque sea divertido o entretenido, aunque no tenga ふうちようわ [日本語で発話する] y que no tenga una definición clara de lo que es el lenguaje de uso.	そうすると、批判されたのは、たとえば、「ふうちようわ」に基づいていても、「ふうちようわ」の理論において、たとえこれに基づいてても、たとえ面白くても、たとえ「ふうちようわ」がなくても、用語の明確な定義がなくても、ユーモアです。		
630				なんだか良くわかりませんね。	
631		Hm.	うん。		
632				理解できましたか。	
633		No mucho.	あまり。		
634				そうですね。[笑う。]	
635		No, porque al no saber tampoco lo que está diciendo. Claro aquí está explicando que le critican esto a esto [行番号522の「しかし GTVH」を指す], pero tampoco sé muy bien que está diciendo esta teoría.	わかりません、なぜならなにが言いたいのかわからないのです。ここでは、批判に照して、これとこれとこれ [行番号522の「しかし GTVH」を指す] というような説明をしています。でもこの理論について言っていることも良くわからないのです。		
636				どの理論ですか、これですか。	
637		Esta es la de la General, es esta [矢印の図表]を指す].	これは一般ので、これ [矢印の図表]を指す]です。		

638					あー、変数ですね。	
639			Si, la de las variaciones, y es como.	はい、その変数です。それはその。		
640					批判がいくつかある。ですね？そしてたとえ ばですね。このりろんはと続きます。	
641			Si.	はい。		
642					ユーモアはたのしくおもしろいもので、このあ るためがむずかしい。[笑う。]常識的に考え て、文脈から妥当がきまませんか、わかりや すいように、文を構成しなおしてみてもどうで すか。	
643			No sé, esto no sabría como ponerlo, pero sería que, aunque se basa en esa teoría, también tiene partes del humor que no tiene esta, que no, o sea, que aunque, ¿pero [日本 語で発話する], que aunque sea divertido no tiene esta incongruencia y no tiene una definición muy clara del lenguaje de uso. En plan, porque aquí tienes lenguaje [前の段落 のLanguageを指す], pero no, lenguaje de uso. Pero no sé, yo es que.	わかりません、どうやらいいか、でももし かしたらこうなるのでしょうか、たとえこの理 論に基づいても、これがないユーモアの部分 があって、つまり、たとえ「けど」、面白くも この不調和がない、用語の明確な定義がな い、とか。まー、ここ(前の段落のLanguageを 指す)に言語があるから、でも、用語、でもわ かりません、私はにどうも。		
644					それではこの文は難しいということで、次に 進みましょう。	
645			Si, no. Porque si no, igualmente es un ejemplo.	はい、そうでないとすると、もしかしたら1つ の例かもしれません。		
646					もしかしたら、後からわかるかも知れませ ん。	
647			Hnhm, ¿cómo es que no [日本語で発話す る] [聞き取り不能] Vale. Esta [前の文を指 す]は重要ではなく、重要なのはこれ [今読ん だ文を指す] [日本語で発話する]。	うーん、「ここでは、なかでも、[聞き取り不 能な声で文を読む]。はい、これ [前の文を指 す]は重要ではなく、重要なのはこれ [今読ん だ文を指す]です。		
648					はい、そうですね。[笑う。]	
649	Simpsonは風刺の分析を通してSSTHもGTVHも不十分であると 批判し、文脈を切り離してテキストを見るのではなく、文脈を含め た総体としてテキストを考えなければならないという(Simpson, 2003, 北, 2009, pp. 111-112)。	ふうしのぶんせきをとおして、ふじゅうふん であるとはなし [日本語で発話する]。vale. Entonces dice que si es suficiente y que, ぶ ん [日本語で発話する]。	「ふうしのぶんせきをとおして、ふじゅうふん であるとはなし」はいい、それで、十分ではな いと言っています。そして、「ぶん」。			
650					ふうしのぶんせきをとおして、	
651			Si, ふうし [日本語で発話する]。a ver [オン ライン辞書 Jisho.org で「ふうし」を調べる] Vale. La ironía [4秒間沈黙] ぶんせきをとおして [日本語で発話する]。Claro, porque en teorí a, la ironía, supongo que es la ironía como tipo de humor. Entonces, claro, dice que esto [「SSTH」を指す] y esto [「GTVH」を指 す] no es suficiente porque el humor quizá en este caso no analiza la ironía. Entonces, como es insuficiente, ぶんみやきをきりはな れ、はなして、きりはなし、はなして、き りはなし [日本語で発話する]。	はい、「ふうし」。えーと、[オンライン辞書 Jisho.org で「ふうし」を調べる]。はい、アイ ロニーと言う意味です。[4秒間沈黙]「ぶんせ きをとおして」。はい、理論的には、アイロ ニー、おそらくこのアイロニーはユーモアのタ イプとしてです。そうすると、そうか、言ってい るのはこれ [「SSTH」を指す]とこれ [「GTVH」 を指す]は不十分だということ、なぜならユー モア、もしかしたら、この場合アイロニーは分 析しにくいかもしれません、それで、不十分 なので、「文脈をきりはなれ、はなして、きり はなし、はなし、きりはなしして「きりはなし」。		
652					きりはなし。	
653			Pues, separarse, ¿no? テキストをみるの ではなくぶんみやきをふくめたそつたいとして テキストをかながえなければならないという [日 本語で発話する]。Entonces, lo que dice este Simpson, claro, con la ironía, también no bienes que fijarte solo en el idioma, sino también en, claro, no solo mirar el texto, que está separado del contexto, sino mirar el texto incluyendo el contexto. Que supongo que esto es lo que dice que es ぶ ん [日本語で発話する]。Vale.	つまり、別々に分けること、ですね?「テキ ストをみるのではなく、ぶんみやきをふくめたそ つたいとしてテキストをかながえなければなら ない」という。そうすると、シンプソンが言っ ていることは、確かにそうです、アイロニーと、 言語に注目するだけでなく、同時に、文脈 と切り離したテキストを見るだけでなく、文 脈も一緒に含めたテキストをみなければなら ないということです。おそらく、これが「ふじゅう ぶん」と言っていることだと思います。		
654					これはシンプソンの理論ですね。	
655			¿Esto? Si, esto es la crítica que hace Simpson, si, es Simpson, a la de estas dos de aquí [「SSTH」と「GTVH」を指す]。	これですか? はい、これはシンプソンがして いる批判です。はい、シンプソンがここに對 するこれら [「SSTH」と「GTVH」を指す]の2つに對 してです。		
656					どこまでですか、はい、あともう少しです。	
657			Si, とうい [日本語で発話する] hasta aquí. 文末を指す] Hasta el とうい [日本語で発話 する]	はい「とうい」ここ [文末を指す]までです。「と うい」ところまでです。		
658					はい、そこですか。	
659			Si, Está aquí en medio, pero とうい [日本語 で発話する]。	はい、ここで途中ですが「とうい」ところ です。		
660					はい、わかりました。	
661			Entonces dice, punto. ユーモアけんきゅう にただいなえいきをあたえたこのふたつの りろんも、このようにおおくのひはんをされて いることがわかる [日本語で発話する]。[4秒 間沈黙] Vale, entonces, que es comprensible, ¿no? Que se entiende que se le hayan hecho todo este tipo de críticas a estas dos tesis que han tenido tanta influencia en él.	そうすると、言っているのは、「ユーモアけん きゅうにただいなえいきをあたえたこのふ たつのりろんも、このようにおおくのひはんを されていることがわかる」。[4秒間沈黙]。はい 、そうすると、理解できる、ですね? 多 くの影響を与えたこの2つの理論に對してこれら の種類の批判がなされていることがわかると いうことです。		
662					2つというほどの理論ですか。	
663			Esta [「SSTH」を指す] y esta [「GTVH」を指 す]。	これ [「SSTH」を指す]とこれ [「GTVH」を指 す]です。		
664					あ、これですね。	
665			Si, claro, está diciendo que estas dos las han criticado mucho y dice que es normal que las hayan criticado porque son dos de las que más han influido en él, en la traducción, bueno en el análisis del humor.	はい、そうですね、この2つは批判を多く受けた が、それは普通のことです、なぜならこれら2つ は非常に与えた影響が強く、なににおいてか という、翻訳において、まー、ユーモアの 分析において与えた影響が多であったから と言っています。		
666					はい。	
667	そこで本研究では Simpson の批判を考慮し、文脈を含めた総体 としてテキスト分析を行うために「結果性」という概念を用いる。結 果性の観点から分析することで、総体とまではいかなくても文 レベルで文脈を考慮しながらユーモアを分析することができる と考えたからである。	Pues entonces, a ver, Pues, ところで [日本語 で発話する]。de estas críticas, que dice aquí, ところでほんけんきゅう [日本語で発話す る]。Entonces, teniendo en cuenta, en esta investigación se tendrá en cuenta especialmente esta crítica, eh, la de Simpson, esta de aquí y, y para- con tal de analizar el texto incluyendo el contexto, que es lo que pedía Simpson, eh, se utilizará el concepto de equivalencia, けっそくせいのか んてんからぶんせきすることで [日本語で発 話する]。	それで、えーと、つまり「ここで」、これらの批 判ですが、ここで言っているのは「ここで けんけんきゅう」。そうすると、ここでは、考 えて、この研究において、特にこの批判を考 えてこの研究がなされるということです。え ー、シンプソンの批判、ここから、そして、 文脈を含めたテキストを分析するという、そ れがシンプソンが要求していたことで、え ー、等価の概念が使われます。「けっそくせい のかんてんからぶんせきすること」。			
668					えー、等価、けっそくせい、けっそくせい は?	

669		Eran.	それは。		
670				結合、そのような意味だったですね。	
671		Si, era la unión, pero supongo que para el caso de la traducción es la equivalencia. El Zレ[日本語で発話する], este. Pues, el. Zレのないこと[日本語で発話する].	はい、結合でした。でもおそらく、翻訳の場合は等価だと思います。あの「Zレ」、これ。つまり、その「Zレのないこと」。		
672				あー、そうですねですか。	
673		Que es como que si no hay Zレ[日本語で発話する] están conectados. No sé.	それは「Zレ」のないことで、繋がっている状態。わかりませんが。		
674				うーん。けっせいというのとはちよつと違う意味に理解していました。	
675		¿Si?	そうですね。		
676				前に起こりうることについて話されていました。	
677		Si, por lo que decía aquí que la, a ver [23章の結束性4行目を採す] Que se podía entender como coherencia o como una parte de la cohesión, pero, no es solo equivalencia.	はい、ここで言っていることによれば、えーと、[2. 3章の結束性の4行目を採す]一貫性あるいは一貫性の一部として考えられますが、でも等価だけではありません。		
678				あ、そうですね。	
679		Más o menos sería como entre estos dos, ¿no? Entre equivalencia y cohesión.	大体この2つの間と言えるのではないですか。つまり等価と一貫性です。		
680				はい。	
681		Más o menos. Y entonces, bueno, que utilizaré ese concepto, esa equivalencia, conexión.	大体です。そうすると、まー、この概念を使って、この等価、接続。		
682		Y como hará un análisis a partir de este punto, que es el subtítulo del trabajo, y todo más o menos [日本語で発話する] Que aunque no analicen- que aunque no sea todo el texto.	そしてこの視点から分析を行います。この論文の副題ですが、「とまではいかなくても」。たとえ分析しなくても、たとえ全てのテキストではなくても。		
683				そうしたいとまではいかなくてもです。	
684		[オンライン辞書 Jisho.orgで「総体」を調べる] Si, ¿no? Ves, todo el texto, aunque no vayan hasta todo el texto sí que lo, lo, analizarán, ¿a ver? Si, lo analizarán, o lo pensarán a nivel de la frase y del contexto. O sea, mientras van pensando, mientras tienen en cuenta este nivel, aunque no sea todo, siempre en este nivel sí. Mientras lo analizan teniendo en cuenta ese nivel, harán, bueno, el creo que se puede hacer el análisis del humor. ¿No? とかかんがえた[日本語で発話する].	[オンライン辞書 Jisho.orgで「総体」を調べる。]はい、そうですね？見てください、全てのテキスト、たとえ全てのテキストを見なくても、それを、それを分析する。かな？はい、それを分析するが、あるいは文脈と文のレベルで考えます。つまり、考えていく間、このレベルを考えに入れながら、たとえ全てにおいてではなく、常にこのレベルにおいて行うということです。このレベルを念頭において分析しながら、行う。まー、彼はユーモアの分析ができて考えた。ですね？「とかかんがえた」。		
685				はい、彼というのは誰のことですか。	
686		とかかんがえたからである[日本語で発話する]	「とかかんがえたからである」		
687				誰がですか。	
688		El, eeh, este [本研究で]を指す。Este se refiere.	それは、えー、これ[本研究で]を指す。この人です。		
689				著者ですか。	
690		El autor.	著者です。		
691				はい。	
692		¿No? Porque si dice que hará, fúnseきする[日本語で発話する] Si, ¿no? Entonces es lo que dice, en este, Yo haré tal cosa, entonces como haré tal cosa, utilizaré esto, y utilizaré esto no solo aquí, sino en este nivel y creo que se puede hacer, ¿no?	違いますか？なぜなら行つて言っています。ふんせきすること。はい、そうですね。そうすると、言っているのは、これは、私はそういうことをします。それでそれを行う方法は、これを使う、ここだけではなく、このレベルにおいて、それができると言う、と言っています。違いますか。		
693				うーん。	
694		Claro, luego ¿jibunがかんがえたからである[日本語で発話する].	もちろん、後で、「じぶんがかんがえたからである」と言っています。		
695	つまり、結束性というこれまでにない観点からユーモア翻訳を分析・考察することで、視聴覚翻訳研究とユーモア研究に一考察を加えることが本研究の目的である。	つまり、けっせいというこれまでにないかんてんからユーモア[日本語で発話する]。【聞き取り不能】Vale, pues entonces, el もくてき[日本語で発話する] es este de aquí [「文全体」を指す] Este.	「つまり、けっせいというこれまでにないかんてんからユーモア」【聞き取り不能】はい、そうすると、その「もくてき」はここ「文全体」を指すに書いてあります。		
696				ユーモアと視聴覚翻訳とそれとどんな関係があるのですか。	
697		というこれまでにない[日本語で発話する]. Entonces, es este [「というこれまでにないかんてんから」を指す] punto de vista de equivalencia que hasta ahora no estaba, no se había hecho, pues se tendrá en cuenta para traducir la traducción, bueno, el análisis y observación de la traducción del humor. Entonces, se tendrá en cuenta esto, y se hará el análisis de la traducción audiovisual del humor, me he perdido. Ah, Vale, aquí, con este [日本語で発話する], se añadirá, o se podrá como, si, ¿no? Se, añadirá, en este caso, se añadirá al análisis del humor y al análisis de la traducción audiovisual. もくてきである[日本語で発話する].	「というこれまでにない」、そうすると、この「【聞き取り不能】」の視点は今までになかった。この視点では行われなかった。つまりこれからは翻訳するの、これらを念頭に入れて、まー、ユーモアの翻訳の考察や分析をするということです。そうすると、これを考えに入れることで、ユーモアの視聴覚翻訳の分析が行われる。どこか見失いました。あ、はい、ここで、ここで、加える、あるいはできる、はい、そうですね？加えられる、この場合は、ユーモアの分析に加えられる、視聴覚の翻訳の分析にも加えられる、それが「もくてき」である。		
698		O sea, que el もくてき[日本語で発話する], el objetivo de esta investigación es añadir más información o aportar información: una visión, ¿no? Un análisis a la investigación sobre el humor y a la investigación de la traducción audiovisual teniendo en cuenta que al analizar la traducción del humor desde un punto de vista que hasta ahora no se ha utilizado de la.	つまり、「もくてき」だから、この研究の目的は加えること、あるいは更に情報を提供すること、あるいは情報というか、ある見方を提供すること、でしょうか？ユーモアについての研究と視聴覚翻訳についての研究の分析、考察すること、今までこの視点ユーモア翻訳を分析するのには使われなかった。		
699				翻訳しているのですか。	
700		Si, [笑う]	はい。[笑う]		
701				ではその言わんとすることを言ってみてください。	
702		Eso quiere decir que este es el objetivo de la, de la investigación, será este.	つまりそれが言いたいのは、これは研究の目的で、これになります。		
703				貢献するために。	
704		Para contribuir, a estos campos de análisis de la traducción.	貢献するためだと、翻訳分析のこれらの分野のために。		

705				こうさつというのはどんな意味ですか。	
706			こうさつ[日本語で発話する] es un tipo.	「こうさつ」はある種のなにか。	
707				ある種の、前になんと言いましたか。	
708			Un tipo de punto de vista. No lo he buscado, creo que no, ¿no?	視点の種類。たぶん調べなかったですよ？	
709				考え直す？	
710			[オンライン辞書Jisho.orgで「考察」を調べる。] Ah, vale. Un estudio. Un estudio solo.	[オンライン辞書Jisho.orgで「考察」を調べる。]あ、そうか。学問。学問だけ。	
711				結論を出すためですね。	
712			Claro.	はい、そうです。	